

東近江地域集落営農

# 農業法人事例集



SHIGA Higashiōmi zone

平成 26 年 7 月  
東近江地域農業センター



## はじめに

農林水産関係予算は、2013年度に続き2年連続の増額となりました。主食用米から飼料用米など非主食用米への転換をはじめとした経営所得安定対策の見直し、担い手の規模拡大を促す農地中間管理機構（農地集積バンク）など一連の農業・農村政策の改革がなされ、大転換期を向える新たな農政改革年度となるもようです。

T P P交渉では例外なき関税撤廃の中で、国益が守れるか、特に米国交渉において牛肉をはじめとする農畜産物の重要品目の保護についての情報開示を求め、民間・消費者への食の安全等情報の共有化対策が必要と考えます。

農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しく、農産物価格の低迷、高齢化、後継者不足、T P P問題や農家の世代交代など急激に悪化の一途をたどっています。その状況の中、県下の大宗をなす東近江地域農業の10年後のあるべき姿を映しだし、農業がもたらす多面的機能により、地域一体型の担い手対策に強化を図り、より持続可能な経営体の確保をするため、集落営農の法人化を地域ぐるみで進めてまいりました。

この冊子は、東近江地域内で集落営農の活動に先進的に取り組み、平成26年3月末日までに法人化された75組織の活動の概要を紹介するものです。各法人組織の皆様には執筆について、大変お世話になりました。

当冊子が、法人設立の参考資料として、あるいは法人間の情報交換を図るためのものとして、ご活用いただければ幸甚です。

平成26年7月

東近江地域農業センター  
運営委員長 三井 久雄

# 目 次

## 事 例

① 農事組合法人	市原地区布引営農組合	1
② 農事組合法人	万葉の郷ぬかづか	2
③ 農事組合法人	アクティブファーム百済寺	3
④ 合同会社	東町ふぁーむ	4
⑤ 農事組合法人	わなみの郷	5
⑥ 農事組合法人	読合堂営農組合	6
⑦ 農事組合法人	グリーンファーム田中	7
⑧ 農事組合法人	川並きぬがさファーム	8
⑨ 農事組合法人	エコファーム川合	9
⑩ 農事組合法人	稲田ファミリー	10
⑪ 農事組合法人	百笑倶楽部	11
⑫ 農事組合法人	永源寺ファーム	12
⑬ 農事組合法人	ぐっと・はーべすと	13
⑭ 農事組合法人	野村町営農組合	14
⑮ 農事組合法人	アグリフィーチャー別所	15
⑯ 農事組合法人	倉橋部町グリーンファーム	16
⑰ 農事組合法人	きながせファーム	17
⑱ 農事組合法人	ファーム八咫の森	18
⑲ 農事組合法人	土のこファーム新堂	19
⑳ 農事組合法人	平阪みつくりファーム	20
㉑ 農事組合法人	エコファーム石寺	21
㉒ 農事組合法人	グリーンファーム小八木	22
㉓ 農事組合法人	ファームにしおいそ	23
㉔ 農事組合法人	南花沢営農組合	24
㉕ 農事組合法人	金堂ファーム	25
㉖ 農事組合法人	加茂営農組合	26
㉗ 農事組合法人	アグリ大林	27

⑳	農事組合法人	七里町百姓倶楽部	28
㉑	農事組合法人	庄米工房	29
㉒	農事組合法人	いけだファーム六四喜	30
㉓	農事組合法人	アグリ建部	31
㉔	農事組合法人	瓶割の郷ひらぎ	32
㉕	農事組合法人	エコ・ファーム NAKAISHIKI	33
㉖	農事組合法人	エコふぁーむ平田	34
㉗	農事組合法人	ひらやなぎ	35
㉘	農事組合法人	サン・燦ファーム	36
㉙	農事組合法人	内野営農組合	37
㉚	農事組合法人	ファームいしどう	38
㉛	農事組合法人	西生来営農組合	39
㉜	農事組合法人	白王町集落営農組合	40
㉝	農事組合法人	市子川原営農	41
㉞	農事組合法人	愛農の郷おさだ	42
㉟	農事組合法人	湯穂	43
㊱	農事組合法人	飯開の里はやしだ	44
㊲	農事組合法人	粒良ファーム中屋	45
㊳	農事組合法人	いけのしり農場	46
㊴	農事組合法人	ました	47
㊵	農事組合法人	東川町営農組合	48
㊶	農事組合法人	益田ファーム	49
㊷	農事組合法人	布引の里 かみおおもり	50
㊸	農事組合法人	ドリームファーム北菩	51
㊹	農事組合法人	上本郷営農組合	52
㊺	農事組合法人	稻垂生産組合	53
㊻	農事組合法人	大清水町営農組合	54
㊼	農事組合法人	江頭町営農組合	55
㊽	農事組合法人	みらいファームしもはさま	56
㊾	農事組合法人	NAWSON堺	57

⑤8	農事組合法人	中里ええのう	58
⑤9	農事組合法人	赤尾町営農組合	59
⑥0	農事組合法人	夢ファーム下羽田	60
⑥1	農事組合法人	小今生産組合	61
⑥2	農事組合法人	宮西ファーマーズ	62
⑥3	農事組合法人	アグリ西菩提寺	63
⑥4	農事組合法人	レークサイド出在家	64
⑥5	農事組合法人	宮井生産組合	65
⑥6	農事組合法人	とくのう・ミヤガワ	66
⑥7	農事組合法人	みちあいの里三津屋	67
⑥8	農事組合法人	平松グリーンファーム	68
⑥9	農事組合法人	蒲生寺町営農組合	69
⑦0	農事組合法人	水郷の里伊庭	70
⑦1	農事組合法人	桜川東ふれあいファーム	71
⑦2	農事組合法人	やまもと	72
⑦3	農事組合法人	エコファーム新宮東	73
⑦4	農事組合法人	北坂農郷	74
⑦5	農事組合法人	アグリさくら	75
	東近江地域における集落営農法人組織一覧表		76



## “地域ぐるみで地産地消～6次産業化 一歩進んだ集落営農の実践”

(農) 万葉の郷ぬかづか

■法人設立日	平成17年6月6日
■経営の品目	水稻・米パン等加工品・路地野菜直売
■構成員数(組合員数)	32人
■集落の水田面積	31ha
■法人の経営面積	水稻 20ha 飼料作物 9ha 露地野菜 1ha

### ■組織体制

理事会 (8人)	— 営農部 (6人)
	— 加工部 (1人)
	— 直売部 (1人)



### ■主な機械装備

トラクター 55、50、33ps (各1台)、クローラトラクター 55ps (1台)、コンバイン 4条 (2台)  
田植機 8条 (2台)、管理ビークル (1台)、ウイングハロー・レーザー均平機械一式  
クローラ型マニアスプレッダー (1台)、フォークリフト (1台)、クローラ運搬車 (1台)

### ■法人設立の経緯

糠塚町は大正初期の耕地整理事業から水利を中心にまとまりある地域で、担い手育成ほ場整備事業(平成9年～11年)により、水田のほ場面積は1haを基本として整備し、併せて集落一農場の集落営農組織を立ち上げてきた。

平成8年に集落の自治会で設置された「創意と工夫の郷づくり委員会」では、男性だけでなく女性や青年、高齢者も参画して、土地改良や農村公園整備、下水道整備、生活改善など、意見や要望を出し合い、当時はやり始めた「道の駅」をイメージしながら、農産物直売所や加工所の開設を目指して、「糠塚彩(さい)発見」という計画書をまとめた。

平成10年7月頃から農家の女性を中心となり、農産物加工品試作やイベントでの販売、視察研修にも取り組み、平成11年には「地域農業経営確立支援事業」の採択を受け、農産物加工所、直売所の建設に着手し、集落で生産される米と牛乳を使った「米粉パン」加工にチャレンジ、県下で初めて米粉パン加工・販売ができた。また同時に農産物直売所をオープンさせ、とれたて野菜やお米の直売もできるようになった。オープンから5年を経て、平成17年6月に法人化した。

### ■経営の特色

・営農部、加工部、直売部は独立採算制で、連結決算を行っている。

### ■今後の計画

- ・米パンは、今後新しい商品開発や、売れるパンづくりの仕組みづくりに取り組んでいく。
- ・営農部では水管理や適期防除、施肥等の管理を徹底し、単収増を図ると共に米の販路拡大を目指す。

法人名：農事組合法人 万葉の郷ぬかづか

## 集落の農地は集落でまもる！

（農）アクティブファーム百済寺

■法人設立日	平成18年7月19日
■経営の品目	水稻・麦・大豆・西瓜・菜種・野菜
■構成員数(組合員数)	65戸
■集落の水田面積	38ha
■法人の経営面積	水稻 1.5ha 小麦 6.5ha 大豆 4.8ha 菜種 1.0ha 野菜 1.0ha 作業受託 23.0ha



### ■組織体制

理事会（9人）

（部会制はとっていないため、各理事に各作業別の担当責任者として、組織している。）

### ■主な機械装備

トラクター 30ps（2台）、トラクター 27ps（1台）、トラクター 26ps（1台）  
コンバイン 4条（2台）、コンバイン 3条（1台）、田植機 5条（2台）、乾燥設備 20石（2台）、  
籾摺機（1台）

### ■法人設立の経緯

以前は営農組合として、活動していたが集落内の農地が、他字に出ている管理不足が増え、農地の集落内での維持が必要となってきた時期に、品目横断的経営安定化対策が、国から示され担い手となる組織として法人化に移行した。

### ■経営の特色

- ・ 水稻・麦・大豆の作付が基本ではあるが、農産物のブランド化を進め、西瓜（角井西瓜）生産に力を入れ、当地区集落営農の核として取り組んでいる。
- ・ 利用権設定している農地の維持には、畦畔維持に組合員出役により除草作業を行っている。
- ・ 一昨年よりスイートコーンの生産を行い、本年は人参生産と、野菜生産にシフトを行っている。このことにより高齢者の出役が増加している。

### ■今後の計画

- ・ 水稻依存の体質から野菜生産にシフトしていき、基本生産物は転作事業として守っていく。

## 集落の農業を企業化するための歩み

（合）東町ふぁーむ

■法人設立日	平成18年10月13日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	13戸
■集落の水田面積	35ha
■法人の経営面積	水稻 9.0ha 小麦 3.0ha 飼料作物 3.0ha



### ■組織体制

代表社員（1人）——— 業務執行役員（4人）——— 事務局（1人）  
└— 社員（4人）

### ■主な機械装備

トラクター 45ps（1台）、コンバイン4条（1台）、田植機 6条（1台）

### ■法人設立の経緯

一集落一農場を目指して集落営農の組織化に向け話し合いを進めてきたが、専業農家や篤農家との調整が進まなかったことから、集落内の一部の農家を中心にとりあえず集落営農組織を立上げ、賛同者を広げることとしました。その後、農業施策の転換等により特定農業団体を目指すことは困難と考え、集落営農組織から農業法人の設立に向け取組みを進めた。

### ■経営の特色

- ・企業的な経営感覚を農業経営に導入するため、合同会社組織の農業法人を設立した。
- ・集落営農の農業法人として、農家、農地、家族労働など従来の農業の改革に取り組んでいる。

### ■今後の計画

- ・経営規模の拡大や高齢化による組織内での労働力では限界に達していることから、法人組織の利点を活かし従業員の雇用と将来の経営者を育てていきたい。
- ・会社組織を株式会社に発展させ、民間からの資金を導入した経営を図りたい。



## “みんなでがんばる集落営農” —豊かなむらづくりを目指して—

（農）読合堂営農組合

- 法人設立日 平成20年1月15日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆・かぼちゃ・キャベツ
- 構成員数(組合員数) 53戸
- 集落の水田面積 34.2ha
- 法人の経営面積

水稻 22.8ha・小麦 7.3ha・大豆 9.8ha  
ほかに大豆刈取作業受託 3.9ha  
かぼちゃ 0.2ha・キャベツ0.4ha

### ■組織体制

理事会（5人）

- 総務部・経理部（3人）
- 生産部・資材労務部（4人）
- 機械施設部（2人）



### ■主な機械装備

トラクター65ps（1台）・55ps（1台）・50ps（1台）・43ps（1台）  
コンバイン5条（2台）・田植機 移植 8条（1台）・移植兼直播8条（1台）・大豆コンバイン（1台）・小麦コンバイン（1台）・レーザーレベラー（1台）・ボトムプラウ（1台）・フォークリフト（1台）・色彩選別機（1台）・ラジコン式防除機（1台）

### ■法人設立の経緯

「集落の農地は集落で守る」を基本理念に、平成5年農業組合の組織内に営農部会を発足し、集落営農に取り組むとともに、平成17年には営農組合として特定農業団体の認定を受け、大型機械や新しい技術に対応した機械の導入等、省力化した土地利用型農業に取り組み、利用面積も順調に増加してきた。

しかし、組織基盤・税金・労働災害の問題等を解決し激変する農業情勢に対応していくため、法人化を進めることによる組合員の結びつきをより強め、更なる生産性の向上と協働の利益増進を図ることを目的として設立したものである。

### ■経営の特色

- ・大型機械の導入による作業の効率化と省力化栽培
- ・環境に優しい農業の推進・・・滋賀の環境こだわり米の栽培
- ・都市間交流を目的とした「田んぼのオーナー」制度の実施
- ・湿害及び節水対策として地下水位制御システム「FOEAS」の施工
- ・「平成20年度豊かなむらづくり全国表彰事業」において、「農林水産大臣賞」を受賞

### ■今後の計画

- ・農地利用集積に伴う協業化への取り組み強化
- ・地下水位制御システム「FOEAS」の施工区域の拡大
- ・機械の運転マニュアルの作成による作業能率の向上と安全管理
- ・特産品づくり（羽二重もち・かぼちゃ・キャベツ栽培）
- ・特産品を活用した加工品づくり（切り餅・しゃぶしゃぶ餅・おはぎ・南瓜プリン）
- ・次代を担う農業後継者の養成並びに女性・高齢者の経営参加（出番づくり）の促進

## 一集落一農場をめざした集落営農システムづくり！ ～地域との共存共栄～

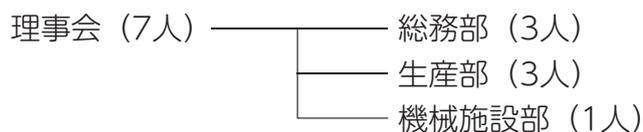
（農）グリーンファーム田中

■法人設立日	平成20年4月21日
■経営の品目	水稻・小麦・大豆・キャベツ
■構成員数(組合員数)	20戸
■集落の水田面積	32.4ha
■法人の経営面積	水稻 16.3ha 小麦5.7ha 大豆 2.0ha キャベツ0.5ha



【キャベツ移植写真】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター 53ps、45ps他（4台）、コンバイン 4条（2台）、田植機 8条（2台）  
乾燥機（2台）、籾摺り機4inch（1台）

### ■法人設立の経緯

平成17年に特定農業団体グリーンファーム田中を設立、水稻・小麦・大豆作の協業化を始める。平成20年4月に法人化、農事組合法人グリーンファーム田中を設立、経理の明確化と経営改善に努める。

### ■経営の特色

- ・水稻を主体とした集落型農業法人である。
- ・転作田において小麦・黒大豆・キャベツの栽培を実施している。
- ・環境こだわり農産物の生産（稲作は全面積実施）
- ・野菜栽培（キャベツ）の拡大を図っている。
- ・大型特殊運転免許（農耕用）取得者4名

### ■今後の計画

- ・野菜（キャベツ等）栽培の面積規模拡大

## 地域との共生と農業コストの低減をめざす

(農) 川並きぬがさファーム

■法人設立日	平成21年1月20日
■経営の品目	水稻・麦・大豆・小豆・ 南瓜・玉葱
■構成員数(組合員数)	22戸
■集落の水田面積	25ha
■法人の経営面積	水稻14ha・小麦5ha・ 大豆4ha 小豆35a・南瓜8a・ 玉葱35a



### ■組織体制

理事会 (5人)	—	総務部 (2人)
	—	生産部 (2人)
	—	機械施設部 (1人)

### ■主な機械装備

トラクター	3台 (36ps、43ps、44ps)
コンバイン	2台 (5条80ps、5条85ps)
田植機	2台 (5条、6条)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として、地域一農場、一元経営を行ってきたが、農業を取り巻く情勢変化と担い手高齢化も鑑み法人化に取り組んだ。

### ■経営の特色

- ・環境こだわり農産物の取組によるコスト低減農業への取組
- ・狭密播栽培等による省力化、畑作物活用による効率化への取組
- ・管理圃場の集積とマニュアルによる管理方法への取組
- ・地域住民との交流事業への取組

### ■今後の計画

- ・米、麦、大豆から新たな品目の取組を推進し、増収・増益に努めて来たが常時雇用者の確保と安定経営に向けた基盤強化をめざす。

## 経営感覚の植付で未来に希望を

(農) エコファーム川合

■法人設立日	平成21年2月1日
■経営の品目	水稻・麦・大豆・野菜
■構成員数(組合員数)	11戸
■集落の水田面積	18ha
■法人の経営面積	水稻 10ha 小麦 4ha 大豆 4ha キャベツ0.1ha ハウス(小松菜 5a)



### ■組織体制

理事会(6人)	— 総務部(2人)
	— 生産部(2人)
	— 機械施設部(2人)

### ■主な機械装備

トラクター 41ps (1台)、トラクター 42ps (1台)、コンバイン 4条 (1台)  
田植機 8条 (2台)、籾摺機 (1台)、自走式ラジコンセット動噴 (1台)  
乾燥調整施設 (5反用・3反用)

### ■法人設立の経緯

平成9年度にほ場整備事業後の農業の効率化を求めて西出宮農組合を設立、農地利用のあり方や効率的な農業経営、転作に伴う取り組みを行い、機械共同利用型集落営農の経営ビジョンやみんなでがんばる集落営農の認定を受け取り組んだが、農作物の価格低迷に拍車がかかる情勢が続き、消費者ニーズも環境に配慮した安全安心の生産物を求められるようになり、平成18年度に特定農業団体として機械利用型から小麦協業・一元経理の環境した集落営農へ移行した。その後、地域農業の担い手として水稻・小麦・大豆の協業経営と経理の完全一元化を図り、農地の保全とコスト低減を目指して平成21年2月1日に「農事組合法人エコファーム川合」を設立した。

### ■経営の特色

- ・稲作は、全面積でこだわり農産物で生産。
- ・肥料と人件費の削減を図るため一発剤の使用
- ・作業時間短縮の目的で水稻品種別団地化

### ■今後の計画

- ・若年層の加入が直面する課題である。
- ・利用権の設定を中心とした規模拡大を図ると共に、効率的な機械利用を推進するために受託作業や野菜栽培拡大に取り組みたい。

## 集落の農地は集落のみんなで守ろう

(農) 稲田ファミリー

■法人設立日	平成21年2月9日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	40戸
■集落の水田面積	33ha
■法人の経営面積	水稻 18.3ha 小麦 10.0ha 大豆 9.6ha その他 0.6ha (野菜)



【育苗機から苗代へ全員参加】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター 27～65ps (4台), コンバイン4条 (2台), 田植機8条 (1台)  
豆コンバイン (1台)、乾燥施設60石 (2台)、籾摺、乾燥調整設備一式 (色彩選別機含む)

### ■法人設立の経緯

平成18年に特定農業団体設立。当初から水稻、麦、大豆の作付けを中心に事業を進め、3年後の平成21年に法人設立、現在は集落の92%の面積を集約し、ほぼ初期の目的を達成することができた。

### ■経営の特色

- ・外部流出費用を抑制するため、水稻の育苗から乾燥調製作業を集落営農内で実施。
- ・出役料は老、若、男、女や作業内容を問わず一律の単価を採用 (新規事業部門を除く)。
- ・新規事業部で野菜・果実 (キャベツ、菜花、カボチャ、インゲン、ニンジン、里芋、イチジク等) を元気なお年寄りや女性の活躍の場として栽培に取り組み、ファミリー的経営も実施。

### ■今後の計画

- ・人材の育成の取り組みを進める (大型特殊農耕限定資格は現状15名)
- ・組合員へのアンケートを実施して、各種作業への参加できる人を増やしていきたい。

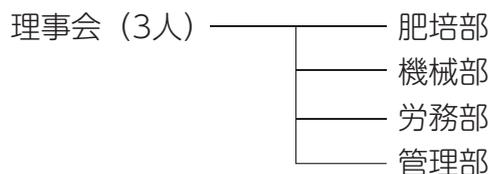
## 若い叡智で将来に夢を！

(農) 百笑倶楽部

- 法人設立日 平成21年2月18日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 34戸
- 集落の水田面積 38ha
- 法人の経営面積 水稻 25.0ha  
小麦 6.6ha  
大豆 6.3ha  
そば 2ha



### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター 42ps (2台) 65ps (1台)、コンバイン 5条 (2台) 4条 (1台)  
田植機 (3台)、管理ビークル (1台)

### ■法人設立の経緯

平成10年玉緒中部土地改良(尻無町・下二俣町・柴原南町)を契機として営農組合 → 特定農業団体 → 法人組織へと比較的順調に発展してきた。

### ■経営の特色

土地柄、水稻、小麦、大豆を三本柱として堅実な経営に努め、平成22年には、「J-GAP (認定番号) MIC-S25-2号」を取得し、指導員6名を擁している。又、大豆においては、フェロモントラップを設置し、環境に配慮した農法に努めている。

### ■今後の計画

・平成26年開設のファーマーズマーケットへの加入を申請したばかりです。

## 県境トンネル開通で永源寺そば等販売促進・・・

(農)永源寺ファーム

■法人設立日	平成21年2月19日
■経営の品目	水稻・小麦・ソバ・大豆
■構成員数(組合員数)	79戸
■集落の水田面積	165ha
■法人の経営面積	水稻 3.7ha 小麦 28.0ha 大豆 10.0ha ソバ 17.7ha



### ■組織体制

理事会 (9人)	—	総務部 (4人)
	—	作業部 (6人)

### ■主な機械装備

トラクター 50ps (1台)・27ps (1台)、汎用コンバイン (2台)、  
コンバイン 3条 (2台)・4条 (3台)、田植機 6条 (1台)、籾摺機 (1台)

### ■法人設立の経緯

転作の始まった昭和48年頃、山上宮農組合を設立。以後、補助制度の認可要件などの変遷によって、平成16年4月に特定農業団体に移行。

高齢化、収益性の悪化による農業経営からのリタイアが想定されるため、平成21年2月に地域農業の受け皿として法人を設立するに至った。

### ■経営の特色

- ・当集落には水稻栽培を中心とする認定農業者が7戸、酪農家が1戸ある。
- ・他は、大半が兼業農家で、その平均耕作面積は2ha。
- ・法人は経営面積の拡大に固執せず、「個人の農業経営を尊重すること」を基本にしている。
- ・個人経営では困難になってきている基幹作業の受託や戦略作物の一体経営などで農家所得の確保に努めている。

### ■今後の計画

- ・県境トンネルの開通後、観光客の増加と共に、市による「道の駅」構想も動き出してきており、米や野菜、消費者への直接販売・加工販売に力を入れたい。

⑬ (東近江市横山町)



- ・米づくりから販売まで総合的な経営をめざそう!
- ・お客様に喜ばれる米づくりをめざそう!
- ・若者たちが後継ぎしてくれる農業をめざそう!
- ・若者に花嫁さんが来てくれる農業をめざそう!
- ・組合員が元気に楽しく生きがいを持てる農業をめざそう!

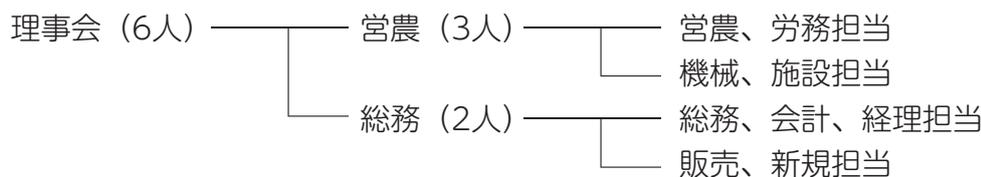
(農) ぐっど・はーべすと

- 法人設立日 平成21年11月24日
- 経営の品目 水稻  
小麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 30戸
- 集落の水田面積 47ha
- 法人の経営面積  
水稻 27ha・小麦 10ha・大豆 5ha



【集落営農設立20周年記念事業H21.11】

■組織体制



■主な機械装備

トラクター	3台 (40ps,30ps,53ps)	フォークリフト	1台
コンバイン	2台 (5条)	乾燥機	2台
田植機	2台 (8条)	籾摺機	1台
管理ビークル	1台	育苗棟	3棟

■法人設立の経緯

平成元年の大規模ほ場整備事業にあわせて完全協業の「横山生産組合」を設立し、20年間の経営で一定の成果を達成することができた。しかし、今後ますます厳しさを増す農業情勢に対処し、経営の安定とさらなる飛躍を目指すため、平成21年11月に「(農) ぐっど・はーべすと」として法人経営に移行した。

■経営の特色、今後の計画

【経営方針】

「組合の安定経営の確立」

「・もうけの確保 ・組合員の喜びややりがい、生きがいの確保」

「・わかりやすく みえる経営の実践」

- ①生産物の販売拡充 (生産コストの低減、販売販路の開拓、工夫)
- ②適正投資の実行 (計画的な投資の実行、機械・施設の維持管理技術の確立)
- ③農業政策の先取りと有効活用 (情報収集・交流の強化と選択活用)
- ④新農産物、新規事業の開拓 (新転作物の導入、新農法・資材、機械の積極導入)

法人名：農事組合法人 ぐっど・はーべすと



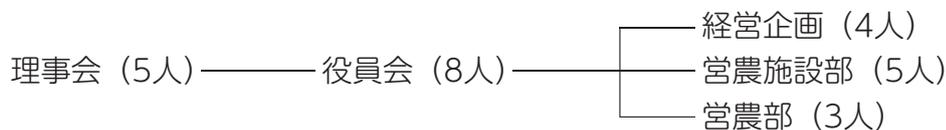
# みんなの田んぼをみんなの手でまもろう！ ゆとりのある農業を目指そう！

(農)野村町営農組合 (穂たる野ふぁーむ)

- 法人設立日 平成21年12月1日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 38戸
- 集落の水田面積 35ha
- 法人の経営面積 水稻 20ha  
小麦 8ha  
大豆 8ha



## ■組織体制



## ■主な機械装備

トラクター 37ps (1台)、コンバイン 4条 (1台)、田植機 8条 (2台)  
 トラクター 55ps (1台)、コンバイン 6条 (2台)、管理ビークル (1台)  
 乾燥機 (25石、30石、35石)

## ■法人設立の経緯

土地改良の圃場整備を契機に、特定農業団体である営農組合を平成16年に設立、土地改良引き渡し圃場から水稻を組織で作付しはじめる。特団の期限 (5年以内) を迎えた平成21年に法人化へ踏み切った。

## ■経営の特色

- ・営農設立から、環境こだわり米に取り組んでいる。
- ・運営は50代を中心に行っている。
- ・30代前半 (次世代) の営農作業参加への機会を設けている。

## ■今後の計画

- ・特色のある作付品種、方法を試行錯誤しながら実践していく。

# 際だつ味！別所米

～皆が田地を提供し・皆が協同作業し・皆が土地を守り・皆が経営者である。～

(農) アグリフィーチャー別所

■法人設立日	平成22年1月14日
■経営の品目	水稻・小麦
■構成員数(組合員数)	28戸
■集落の水田面積	36ha
■法人の経営面積	水稻 19ha 小麦 9ha



## ■組織体制

理事会 (6人)

## ■主な機械装備

トラクター 43ps (1台)、トラクター 41ps (1台)、コンバイン 4条 (1台)、  
コンバイン 3条 (1台)、田植機 8条 (1台)、田植機 5条 (1台)

## ■法人設立の経緯

特定農業団体設立時より、地区内で初めての、水稻・小麦作の協業化を行ってきたが、経営内容においても農事組合法人と遜色なく経営を行っていたので、スムーズに経営移行することが出来、町区内第一番目として、平成21年1月に法人化した。

## ■経営の特色

- ・当地区は、もともと土壌等が良く、昔から、おいしい米どころと言われてきた地区で、毎年堆肥を散布し肥料等の削減を図ると共に、より一層おいしい米づくりを目指し、安全・安心な環境こだわり米と米糠を散布した無化学肥料栽培により際だつ味・別所米を追求している。組合員の高齢化に伴い若者への農業機械のオペレーター及び農作業の指導等を行い、担い手育成確保を図り、農繁期、草刈等には組合員外の若者等も雇い、地域(村)全体での営農活動に取り組んでいる。
- ・堆肥利用による肥料費節減。

## ■今後の計画

- ・当地区の土壌に合った野菜作物を模索中。

## 倉橋部町の農地は倉橋部町で守る。 次世代の新しい農業を構築しよう。

(農) 倉橋部町グリーンファーム

■法人設立日	平成22年11月5日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	29戸
■集落の水田面積	19.7ha
■法人の経営面積	水稻 13.7ha 小麦 6.0ha



### ■組織体制

理事会 (9人)	— 代表理事 (1人)
	— 総務部 (2人)
	— 営農部 (4人)
	— 機械施設部 (2人)

### ■主な機械装備

トラクター 42ps (1台)、トラクター 34ps (1台)、トラクター 24ps (1台)  
コンバイン 4条 (2台)、田植機 8条 (1台)、田植機 6条 (1台)

### ■法人設立の経緯

国の政策が「経営所得安定対策等大綱」から「農業者戸別所得補償制度」へと農業者に対する支援対策等大きく政策変更された。一方、当町においては農業従事者の高齢化や後継者不足により、受託できない農地が発生し、現在の形態では農業を維持することが困難な状況になっていた。

こうした中、当町において今後、農業のあり方等について研究、検討する「倉橋部町農業改革推進委員会」の設置、その後「倉橋部町新組合設立準備委員会」で協議を重ね今般『倉橋部町グリーンファーム』を設立する運びとなった。

### ■経営の特色

- ・一集落一農場方式による農業経営。
- ・白大豆(オオツル)の狭条密播栽培の拡大など、収益の向上を図るための技術改善に積極的に取り組み、同時に機械投資を節減する。
- ・経理管理については、構成員が本職(経理事務、JA職員、公務員、自動車整備工など)で培った専門知識を活用。特に、複式簿記や作業日報は詳細なデータを蓄積しているため、これにより、組織運営のコスト分析を実施し、経営改善に活用している。
- ・今後は、労務における更なる省力化や低コスト技術の導入を検討。

### ■今後の計画

- ・格納庫の建設(未定)
- ・近隣団地等に対する米の直接販売(地産地消)の拡大

## 集落の農地はきながせファームが守る！

(農) きながせファーム

■法人設立日 平成22年2月1日

■経営の品目 水稻  
小麦・WCS

■構成員数(組合員数) 10戸

■集落の水田面積 19.5ha

■法人の経営面積

水稻 15ha・小麦 4.5ha

稲育苗管理委託 8,000枚

稲乾燥・調整委託 10ha

■組織体制

理事会 (4名)

■主な機械装備

トラクター 30ps (2台)、トラクター 34ps (2台)、コンバイン 5条 (1台)

田植機 6条 (2台)、ミニライスセンター300㎡

■法人設立の経緯

特定農業団体として転作部門の協業化を行ってきたが、水稻についても協業化に踏み切り、平成22年2月1日に法人化を設立した。

■経営の特色

- ・稲作は全面積で環境こだわり米の生産を行っている。
- ・稲作の作業・管理作業は耕作者に委託している。

■今後の計画

- ・後継者の確保





## 絆を大切に喜び合える農業経営を目指す

(農) 土のこファーム新堂

- 法人設立日 平成22年2月2日
- 経営の品目 水稻・小麦・野菜
- 構成員数(組合員数) 3戸
- 集落の水田面積 10ha
- 法人の経営面積 水稻 7.5ha  
小麦 2ha  
大豆 2ha  
他 0.1ha



### ■組織体制

理事会 (4人)

### ■主な機械装備

トラクター 45ps (1台)、トラクター 42ps (1台)、コンバイン 4条 (1台)  
コンバイン 3条 (2台)、田植機 6条 (1台)

### ■法人設立の経緯

- ・特定農業団体で水稻、小麦の協業を行ってきたが、事業参加者が減少し事業の継続を行うためには、女性の力を借り法人化に取り組んだ。

### ■経営の特色

- ・稲作は全面積が環境こだわり農産物生産を実施。
- ・水管理は担当者を決め全て受持ち。
- ・女性が中心で作業し、代表理事も女性である。

### ■今後の計画

- ・環境こだわり農産物に取り組み、顔の見える関係を大切に、より良い商品生産に取り組む。

## 地域の担い手となり、 助け合える仲間作りでコストの低減を目指す。

(農) 平阪みつくりファーム

- 法人設立日 平成22年2月10日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆・野菜
- 構成員数(組合員数) 7戸
- 集落の水田面積 15ha
- 法人の経営面積

水稻 8.69ha  
小麦 2.66ha  
大豆 1.00ha  
野菜 0.13ha  
WCS 1.15ha  
(30.1aは水田アート)



### ■組織体制

理事会 (5人) ———— 監事 (2人)  
                              ——— 事務局 (1人)  
                              ——— 機械整備

### ■主な機械装備 (機械装備は全て借上げ機械である。)

トラクター 35ps (1台)、トラクター 24ps (1台)、コンバイン 8条 (1台)  
ハロー (1台)、リフト 2t (1台)、シーダー (1台)

### ■法人設立の経緯

米価の低下、米の消費量の低下や担い手不足と農家離れが著しく農業経営が厳しい状況である。いずれ農地は荒れ、集落の環境も悪化して行くことが予想され、今後の農業を考え、収支一元化、生産コストの低減、生産の向上、環境に配慮した安全安心な生産体制への取り組みと地域農地を守るために設立した。

### ■経営の特色

- ・水稻育苗は苗を購入せずに必要枚数を播く。
- ・水稻品種は限定している。早生品種はコシヒカリ、中生品種は秋の詩・糯。
- ・水稻は一般米・環境こだわり米。一部水田アートを行っている。

### ■今後の計画

- ・法人の機械整備を計画的に進める。
- ・農地の集積を進める。
- ・野菜作りに取り組む。
- ・農地の拡大化を進める。

## うるおいのある農業を目指して ～集落の農地は集落で守る～

(農) エコファーム石寺

- 法人設立日 平成22年2月18日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 94戸
- 集落の水田面積 85ha
- 法人の経営面積 水稻 52ha・小麦 25ha  
大豆 24ha

### ■組織体制

- 理事会 (8名) —
- 総務会計担当理事 (2名)
  - 企画部担当理事 (2名)
  - 営農部担当理事 (2名) — オペレーター部会 (23名)
  - 機械施設部担当理事 (1名)



### ■主な機械装備

- トラクター 55ps (2台)、トラクター 65ps (4台)  
コンバイン 3条 (1台)、コンバイン 6条 (1台)、コンバイン 7条 (1台)  
田植機 6条 (1台)、田植機 8条 (2台)、管理ビークル (1台)  
乾燥機50石 (2台)、乾燥機80石 (1台)、糶摺り機5吋 (1台)

### ■法人設立の経緯

- ・平成7年のほ場整備事業の完了を契機に、個別農家による機械への過剰投資を抑制し、大型機械の共同利用による作業の効率化を図るため、平成11年に機械の共同利用組織を設立
- ・水田・畑作経営所得安定対策の導入を契機に、集落内全ての個人所有農業用機械の整理合理化を進め、集落一農場方式の協業経営を目指し、平成17年に石寺営農組合を立上げ、平成18年には特定農業団体となる。
- ・組合員意識の高揚から営農体制の拡充強化をはかるため法人化計画を繰り上げ、平成22年2月に農事組合法人エコファーム石寺を設立。

### ■経営の特色

- ・理事会の協議に基づき年間を通した作業計画書を作成し、天候などによる修正を図りながら作業を実施している。また、耕耘・田植・刈取作業については、中核となるものを決めて習熟度を高めることによる作業安全と作業効率の向上を図っている。
- ・畦畔の除去による圃場の拡大や作付けの団地化により、移動時間のロスの削減等に努めたことにより農作業の効率化が図れ、10a当たりの労働時間は、11時間にまで縮減している。

### ■今後の計画

- ・6次産業化について検討を進める。
- ・暗渠排水の更新事業を進める。
- ・若年層の取り組みによる後継者の育成を進める。
- ・農村社会の伝統の継承

法人名：農事組合法人 エコファーム石寺



## 栽培技術の追求で、作業効率と収量・品質向上を図り 所得向上により経営の安定を目指す

(農) ファーム にしおいそ

- 法人設立日 平成22年3月23日
- 経営の品目 水稻・二条大麦・小麦・黒大豆・白大豆・馬鈴薯・野菜
- 構成員数(組合員数) 82戸
- 集落の水田面積 61.8ha
- 法人の経営面積  
水稻34.3ha・小麦6.7ha  
二条大麦7.3ha・黒大豆6.6ha  
白大豆9.3ha・馬鈴薯2.1ha



### ■組織体制

- 代表理事組合長
- 理事会 (7人) — 副組合長 (2人)  
— 総務部 (4人)  
— 生産・労務部 (6人)  
— 機械施設部 (3人)  
オペレーター (11人)

### ■主な機械装備

トラクター 20～83ps (6台)、コンバイン 6条 (2台)、田植機 8条 (2台)  
汎用コンバイン 1台、大豆コンバイン 1台、管理ビークル 19ps (2台)

### ■法人設立の経緯

ほ場整備事業を契機に、集落内ほぼ全戸が参加する耕種部門の担い手組織として、集落一農場方式による協業経営をすることとし、平成13年1月に任意組合組織を設立した。

その後、経営確立をめざし、事業経営を継承し平成22年3月に法人を設立した。

### ■経営の特色

- ・経営運営は構成員の本業と過去経験能力を活かし、役割分担により経営力を図る。
- ・水稻は全て環境こだわり栽培する中で、直播と主食外品種の拡大を図っている。白大豆は狭条密播栽培と黒大豆の拡大、馬鈴薯は農工商連携作物として栽培し、各作物共に栽培要領の改善に取組、収量・品質向上に努めている。
- ・事業活動の継続維持、組織運営向上に向け、作業要領手順等のマニュアル化を推進。
- ・作業内容と所要時間、資材施用量、収量等の情報を金銭処理・作業分析・コスト分析に活かし、経営改善と経営の安定向上を図っている。

### ■今後の計画

- ・栽培技術の追及によるコスト低減と所得向上作物への転換。
- ・法人間連携による人・もの・金の効率向上で経営力の向上。

## 集落営農でキラリと輝く花の木の郷

(農) 南花沢営農組合

■法人設立日	平成22年5月10日
■経営の品目	水稻・麦・大豆・野菜
■構成員数(組合員数)	31戸
■集落の水田面積	36ha
■法人の経営面積	水稻 18.0ha 小麦 10.6ha 大豆 9.6ha 野菜 1.0ha 水稻作業受託 9.6ha



【南花沢営農組合農業倉庫】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター 50ps (1台)、トラクター 37ps (1台)、トラクター セミクローラ (1台)  
コンバイン 5条 (2台)、田植機 7条 (1台)、直播機 8条 (1台)、畔塗機 (1台)  
乾燥施設 6反用 (1台)、籾摺機 4吋 (1台)、溝堀機 (1台)

### ■法人設立の経緯

平成7年に営農組合を設立して以来、作業受託を中心に組合員の農業に係る共同利用機械・施設を設置(当該施設を利用して行う組合員の生産する物資の運搬、加工、又は貯蔵の事業を含む)。及び共同化に関する事業を行う。高齢化担い手不足の状況下でより継続可能な営農組織となるべく法人化した。

### ■経営の特色

- ・現在、水稻については作業受託中心に行っている。
- ・麦・大豆についてはブロックローテーションで法人が作付を行っている。
- ・平成23年度より野菜やかぼちゃにも取組む(12a)。
- ・平成23年度より農地集積事業に取組む(6.8ha)。

### ■今後の計画

- ・集落の集積事業を活用しながら1集落1農場を目指して頑張っていきたい。
- ・羽二重もちを利用して六次産業化に取り組みたい。

## 伝統建造物保存地区と共生する農業経営を目指す

(農) 金堂ファーム

■法人設立日 平成22年5月25日

■経営の品目 水稻・麦・大豆

■構成員数(組合員数) 17戸 (17人)

■集落の水田面積 41.7ha

■法人の経営面積

水稻 6.5a・小麦 10.3ha

大豆 8.6ha・作業受託 23ha

■組織体制

理事会 (5人) ————

- 水稻部 (5人)
- 転作部 (4人)
- 機械施設部 (4人)
- 総務部 (3人)

(代表理事以外の理事が部長を兼ねる。)

■主な機械装備

・法人の所有

コンバイン5条 (1台)、田植機6条 (1台)、溝切機 (1台)、トラクター38ps (1台)

・リース機械

トラクター 33ps (1台)、トラクター18ps (2台)、コンバイン5条 (1台)

田植機 6条 (1台)、乾燥機50石 (2台)、粉摺り機 (一式)、フォークリフト (1台)

・リース施設

営農センター、事務所

■法人設立の経緯

特定農業団体として転作部門の協業を行ってきたが、担い手の高齢化や離農者の急増があった。強い危機感を共有し、当面は転作部門を中心とした法人を設立した。離農者の農地の受け皿としての法人となり、将来的には一集落一農場を目標とする。

■経営の特色

- ・水稻は個人経営、転作作物を主に経営する法人である。
- ・各部の部長(理事)が中心となりそれぞれの作業を遂行している。
- ・親が離農したとき、積極的に就農できる環境づくりに力を入れている。
- ・法人経営の水稻は、すべて環境こだわり米である。
- ・全員出勤しての作業を多くして、構成員であることの自覚意識を高めている。

■今後の計画

- ・米の直販を増やしていくこと。
- ・米・麦・大豆から徐々に脱却していくこと。



## “加茂の農地は加茂町で守る。 将来的には地元農業を守り維持していく。”

(農) 加茂営農組合

■法人設立日	平成22年7月1日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	138戸
■集落の水田面積	160ha
■法人の経営面積	水稻 9ha 小麦 23ha 大豆 13ha



### ■組織体制

理事会 (14人監査2名含む)	— 総務部 (4人) — 生産部 (5人) — 機械施設部 (5人)
--------------------	--



### ■主な機械装備 (機械装備は全て借上げ機械である。)

トラクター 20ps (1台)、トラクター 32ps (1台)、トラクター 50ps (1台)  
コンバイン 4条 (1台)、コンバイン 5条 (1台)、田植機 8条 (1台)  
田植機 5条 (1台)、大豆選粒機 (4台)

### ■法人設立の経緯

平成12年～22年の10年間で、34%の離農者が出て、また更に減少傾向にある。農業者の高齢化、農業を取り巻く環境の変化等をふまえ、将来的に地元農業を守り維持して行く必要があった。従って農地所有者を組合員として出資をしてもらい、たとえ離農されても出資をすることで、自分の農地、農業に関心を持ち続けて貰うことにした。このことに賛同を得て法人設立することが出来ました。

### ■経営の特色

- ・当町は種子大豆 (オオツル・タマホマレ・ことゆたか・フクユタカ) の生産に取り組んでいる (当町全体で44ha)。
- ・平日は60才以上で作業に当たっている。平日の人の確保や特にオペレーター確保に苦戦している。

### ■今後の計画

- ・設備 (施設等) が整えば6次産業にも取り組みたいと思っているが、現状ではまだまだ難しい。

## 輝く未来を見つめて! アグリ大林

(農) アグリ大林

■法人設立日	平成22年8月16日
■経営の品目	水稻種子・アスパラ等の野菜
■構成員数(組合員数)	12戸
■集落の水田面積	20ha
■法人の経営面積	水稻 16.8ha 野菜 0.2ha



### ■組織体制

理事会 (3人)

### ■主な機械装備

トラクター 43ps (1台)、トラクター 33ps (2台)  
トラクター 22ps (1台)、コンバイン 4条 (2台)、田植機 8条 (1台)

### ■法人設立の経緯

H2年に農業組合と営農組合が合併し1組織となり、コンバインの収穫作業は100%共同で実施していた。早くから1農場方式の話が出ており、数年前から法人移行の機会を窺っていた。平成21年に1農家(1.8ha)が農業を辞めたいとの意向があり、農業組合で協議の結果、平成22年8月に法人化し、その農地を法人が耕作することとなり、全農家参加型の農事組合法人を立ち上げた。

### ■経営の特色

- ・畦畔除草作業の軽減を目的に6年前からカバープランツとしてセンチピートグラスを導入している。
- ・水稻種子栽培を中心として一部野菜を取り入れようと試作を行っている。
- ・組合員の従事分量配当は、管理料とオペ賃の二本立てにしている。
  - 管理料=田植え後、自分の圃場を中心に農家に戻し、年間の草刈、水管理等を任せて、一律で圃場管理料(反当たり)として支払いをしている。(圃場が分散している農家は、管理圃場を入れ替えて1ヶ所にまとめている)
  - オペ料金=法人の作業計画に伴い出役した時間数に合わせた支払をしている。
- ・集落全体の圃場を①から連番を打ち、圃場の看板を立てて、耕耘や田植、刈取時に間違いの無い様、圃場番号で管理し、作付品種は全て団地化している。

### ■今後の計画

- ・野菜・果樹等取組の研究、加工



## 優良農地を守り『ふるさと』の薫りと 温もりを残す集落の伝承を目指して

(農) 庄米工房

■法人設立日	平成22年12月2日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	23戸
■集落の水田面積	24.7ha
■法人の経営面積	水稻 18.6ha 小麦 5.3ha 大豆 2.5ha



【全農家参加、全住民参加型経営がモットー】

### ■組織体制

理事会 (7人)	┌ 総務担当 (2人) ├ 生産労務担当 (3人) └ 機械施設担当 (1人)
代表理事 (1人)	

### ■主な機械装備

トラクター 32ps (1台)、田植機 8条 (1台)、コンバイン 4条 (2台)  
トラクター 34ps (1台)、田植機 6条 (1台)、溝付機 (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として、転作の協業化から、水稻も含めた一農場経営へと発展させてきたが、今後の経営安定と一層の営農体制の強化、発展を目指して、法人化することとした。

### ■経営の特色

- ・集落内全農家参加、全住民参加型経営を実践。
- ・堆肥利用による化学肥料低減。

### ■今後の計画

- ・麦跡田において法人による大豆栽培と、野菜等栽培に意欲のある組合員への再委託によって行っているが、今後は野菜等栽培技術を法人としても修得し多角的な経営と、それにを活用した米の販路開拓が行えるように研鑽していきたい。

## みんなで楽しく 生きがいのある農業を目指そう

（農）いけだファーム六四喜

■法人設立日	平成23年4月1日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	31戸
■集落の水田面積	31ha
■法人の経営面積	水稻 3ha 小麦 9ha 大豆 9ha



### ■組織体制

理事会（5人）	—	総務部（1人）
	—	生産部（1人）
	—	機械施設部（1人）
	—	会計（1人）

### ■主な機械装備

トラクター 58ps（1台）、トラクター 30ps（1台）、コンバイン 5条（1台）  
田植機 8条（1台）

### ■法人設立の経緯

平成18年特定農業団体として、転作事業を主体に取り組み、組合員の高齢化とともに水稻作付の委託を受け、集落農業の継承を図るため法人化した。

### ■経営の特色

- ・転作主作物（小麦）をブロックローテーションで実施。
- ・小麦後は大豆を全面作付し、狭畦密播栽培で反収250kgを目指す。
- ・オペレーターは後継者を中心に構成して、運転技術（免許取得）の向上を目指す。
- ・農地集積については、組合員理解のもとで、ソフトランディング方式で実施する。
- ・集落の自然を守り、環境にやさしい安心・安全な農産物の供給に努める。
- ・水稻栽培については、組合員及び町民のニーズに応え、地産地消の拡大を図る。
- ・人材の育成を目指して研修会の充実を図る。
- ・キャベツの栽培及び販売に取り組む。

### ■今後の計画

- ・高齢者や婦人部の活動の場として「やさい栽培」への取り組みと販売体制の確立。

## 地域内の農地を守り、コスト削減を図りながら、 経営の安定化を目指す

(農) アグリ建部

■法人設立日 平成23年6月20日

■経営の品目 水稻・麦・大豆

■構成員数(組合員数) 8戸

■集落の水田面積 21ha

■法人の経営面積 9ha

水稻8.5ha・ミノリ大麦4ha・大豆4ha  
玉ネギ17a・じゃがいも10a・枝豆7a  
丹波黒豆30a

### ■組織体制

理事会 (8人)	—	総務部 (2人)
	—	生産部 (2人)
	—	機械施設部 (2人)



### ■主な機械装備

トラクター50p s (1台)、コンバイン4条 (2台)、田植機6条・8条 (2台)  
管理ビークル (1台)、育苗ハウス (2500枚分)、弾丸暗渠 (1台)  
溝掘機 (1台)、畔塗り機 (1台)、汎用コンバイン (1台)、播種機 (1台)  
ミニライスセンター (360㎡)

### ■法人設立の経緯

機械の大型化が必要となったことで、営農組織による協業化を開始

その後特定農業団体へ移行、コスト削減及び労働力不足を補い、安定経営を目指す為法人設立となる

### ■経営の特色

- ・規模拡大加算を活用し町内の集積 (利用権設定10年の利用権設定を行う)
- ・稲作は全面積環境こだわり米の作付
- ・堆肥利用により肥料削減
- ・大豆狭畦密播栽培250kg/10a
- ・ミノリ大麦収量 8俵/10a
- ・収穫の麦は麦茶、玄米は玄米茶の素加工販売 (やさい村・イシンショップ五個荘・直売所きてか〜な)

### ■今後の計画

- ・地域内の水田面積が少ない為投資効果を上げる為に地域外での機械利用を促進したい。
- ・所得向上への作物転換及び栽培技術追求によるコスト削減

法人名：アグリ建部

## 大区画ほ場で未来に引継ぐ農業と ふるさとの薫り残す農村の伝承

(農) 瓶割の郷 ひらぎ

■法人設立日	平成23年7月1日
■経営の品目	水稻・麦・大豆・野菜
■構成員数(組合員数)	135戸
■集落の水田面積	120ha
■法人の経営面積	水稻 36.0ha 小麦 30.0ha 大豆 20.0ha

### ■組織体制

理事会 (13人)	— 総務部 (6人)
	— 生産部 (4人)
	— 機械施設部 (3人)



【カバープランツの播種作業】

### ■主な機械装備

トラクター 83ps (1台)、コンバイン 6条 (3台)、田植機 8条 (2台)  
トラクター 65ps (2台)、管理ビークル (2台)

### ■法人設立の経緯

これまで上平木生産組合として転作(小麦)の協業化を行ない、また、米、大豆においては、機械の共同利用や作業受託を行ってきた。しかしながら、米価下落による収益悪化により耕作意欲が減退し始め、後継者不足の懸念、国の農業政策の改革が予想されることから、平成18年、特定農業団体となり圃場の大規模化と協業の作物全体への拡大、組織の法人化計画を立案する。

平成19年には経営体育成基盤整備事業による圃場整備に取りかかり、平成22年から整備済み大区画圃場での営農が可能となった。平成23年3月、上平木生産組合のほとんどの組合員から法人設立の賛同を得て、平成23年7月1日、農事組合法人「瓶割の郷ひらぎ」を設立する。

### ■経営の特色

- ・畦畔除草の軽減を目的にカバープランツの植生
- ・水稻は全面積で環境こだわり農産物生産を実践
- ・大豆は狭畦密播栽培
- ・水稻育苗ハウス内で野菜栽培(ハウレンソウ・オクラ・インゲン)を行い、女性労働力の活用
- ・オペレーターは25人 30歳代 2人、40歳代 10人、50歳代 13人

### ■今後の計画

- ・大豆の作付面積拡大や水稻直播面積の拡大などにより省力化と所得増を図る。また、自立した農業経営ができるよう、JAや行政と連携を取りながら栽培作物の研究を行う
- ・青壮年層の役員登用と専門知識の習得支援により後継者の育成を計る
- ・複式簿記記帳により経営状況を把握する

法人名：農事組合法人 瓶割の郷 ひらぎ

## 共同利益による経営の安定と、 ふるさとの薫りを残す農村風景の伝承

(農) エコ・ファームNAKAISHIKI

- 法人設立日 平成23年7月6日
- 経営の品目 水稻・麦・黒大豆
- 構成員数(組合員数) 31戸
- 集落の水田面積 31.6ha
- 法人の経営面積  
水稻 14.2ha・小麦 10.1ha・大豆10.1ha

### ■組織体制

- 理事会 (8人) — 総務部 (2人)
- 営農部 (4人)
- 機械部 (2人)



### ■主な機械装備

トラクター34ps (1台)、トラクター65ps (1台)、トラクター66ps (1台)、  
トラクター76ps (1台)、コンバイン4条 (2台)、田植機8条 (2台)、管理ビートル (1台)、  
多目的田植機 (1台)、黒豆用コンバイン (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農用地利用規程の認定期間が平成23年10月となっており、これを機会として法人化を進めた。営農体制の再構築と農業の有する多面的機能が発揮できる事を目指し、組合員の共同利益の推進と経営安定の確保により、優良農地を守り、ふるさとの薫りを残す農村風景を伝承したい。

### ■経営の特色

- ・黒大豆の狭畦密播、乗用管理機での防除、大豆用コンバイン収穫による機械化体系。
- ・水稻の環境こだわり栽培の実施。
- ・組合員の輪番出役による対応。(小麦・黒大豆の播種作業等)

### ■今後の計画

平成26年4月より一元化をスタートしました。農地の利用集積は22.7ha (83.2%) となります。地区の農地は、自分たちの手でしっかり守っていくため、しっかりとした営業体制の確立を図っていきます。

## 次世代に繋ぐ営農体系と農村景観

(農) エコふぁーむ平田

■法人設立日	平成23年7月20日
■経営の品目	水稲・小麦・大豆
■構成員数(組合員数)	25戸 (内町外2戸)
■集落の水田面積	33.3ha
■法人の経営面積	
水稲	19.5ha
小麦	7.5ha
大豆	7.0ha



組合員全員での麦採種圃の異種抜き取り・除草作業

### ■組織体制

理事会	代表理事	1人	総務部	2人	水稲部	2人
			小麦部	2人	大豆部	2人

■主な機械装備	トラクター	65ps 1台、44ps 1台、33ps 1台
	コンバイン	5条刈り 2台、4条刈り(麦用) 1台
	田植機	8条植え 2台

### ■法人設立の経緯

当地域は、平坦な水田地帯の農村地域に位置し、水稲を中心に農業が営まれてきており、1ha程度の経営規模の兼業農家で、後継者問題や経営規模拡大が大きな課題となっていた。

昭和57年に麦作組合を設立、転作の主要品目を麦とし、経理を一元化した営農組織で種子麦の栽培に取り組んできました。平成10年にはオペレータ方式により農業機械の共同利用に取り組む集落営農組織を設立しています。農地の3分の2は10a区画、残りの3分の1が30a区画でしたが、営農の効率化を図るため、畦畔を除去する方式によって平成21年には60aを基本区画としたほ場に再整備を行いました。

この圃場の再整備への取り組みを契機に、平成17年に集落営農組織と麦作組合を再編した営農組織「平田町集落営農組合」を設立、集落の9割以上の農家の参画を得ました。平田町集落営農組合は、平成18年5月31日、特定農業団体に認定され、水稲、麦、大豆による経営を行ってきましたが、より一層の経営の安定化を図るため、集落営農組合を法人化したものです。

### ■経営の特色

- ・稲作は、全て環境こだわり農産物。
- ・小麦は、ほとんどの圃場で種子生産に取り組み、高い種子合格率を確保。
- ・麦跡には、大豆を栽培するなど高度利用率100%。
- ・大豆は密播栽培で反収220kg/10aを確保。

### ■今後の計画

- ・現在は、組合員全員が出役し農作業を担っているが、定年を迎える組合員も多くなってくることから、こういった組合員に作業の集約を行い、会社等に勤務している組合員の休暇を取っての出役の軽減を図るとともに、若い世代にも出役しやすい環境を整える。
- ・平成26年3月に営農倉庫を新築。今後は、乾燥調整施設の整備による組合員の飯米確保と独自の販路拡大策を模索中。

法人名：農事組合法人 エコふぁーむ平田

## “ 集落の農地は集落で！ 仲間でやれば楽しい農作業！”

(農) ひらやなぎ

■法人設立日	平成23年8月24日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	77戸
■集落の水田面積	87ha
■法人の経営面積	水稻 43ha 小麦 22ha 大豆 8ha



### ■組織体制

理事会 (5人)	┌ 作物別責任者 (4人) ├ 班長 (4人) └ 機械施設部 (2人)
監事 (2人)	

### ■主な機械装備

トラクター42ps (2台) トラクター 28ps (1台)  
コンバイン 4条 (2台) コンバイン 5条 (1台)  
田植機 8条 (1台) 大豆コンバイン (1台)

### ■法人設立の経緯

平成16年から米政策の変化を起点に農家の問題点を洗い出し転作団地化小麦栽培を主とする集落営農組織を立ち上げ、5年後の法人設立に至った。

### ■経営の特色

・集落の農地(緑)を守る為、経営の安定下(反収の安定)に努めながら若手後継者を育てる。

### ■今後の計画

・育苗・乾燥施設の設備及び野菜部門の設立と共に販売の拡充





## 伝統文化・農地は地元で守り後世に引き継ぎます。

(農) ファームいしどう

■法人設立日	平成23年9月28日
■経営の品目	水稻・麦・大豆
■構成員数(組合員数)	24戸
■集落の水田面積	52ha
■法人の経営面積	水稻 9.9ha 小麦 5.6ha



### ■組織体制

理事会 (6人)

### ■主な機械装備

トラクター 39ps (1台)  
コンバイン 5条 (1台)  
田植機 6条 (1台)



### ■法人設立の経緯

特定農業団体として転作部門(麦作付、刈取)の協業を行っていたが、担い手の高齢化、担い手不足などから地区内の農地を集積し、稲作も含めた協業化の要望があり、平成23年9月28日法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

農業生産について、協業を図り生産性の向上と組合員の共同の利益の増進を目的とする。

- ・稲作の環境こだわりを実践。
- ・堆肥利用による肥料経費の削減。
- ・オペレーター方式で取組んでいる。

### ■今後の計画

- ・オペレーターの拡大
- ・担い手の育成

## “結い” の精神のもと「集落の農地は集落が守る」

(農) 西生来営農組合

■法人設立日	平成23年10月6日
■経営の品目	水稻・大麦・大豆
■構成員数(組合員数)	106戸
■集落の水田面積	96.6ha
■法人の経営面積	水稻23.2ha 大麦27.8ha 大豆27.8ha



【汎用コンバイン取扱い講習会】

### ■組織体制

理事会 (16人)	— 総務部 (8人)
	— 生産部 (7人)
	— 機械施設部 (7人)

### ■主な機械装備

トラクター (4台)、コンバイン (2台)、汎用コンバイン (1台)、大豆コンバイン (1台)  
田植機 6条 (2台)、管理ビークル (1台)

### ■法人設立の経緯

市内で先駆け特定農業団体として転作部門の協業を行ってきたが、担い手の高齢化や後継者不足などにより、水稻の協業化への要望も多くなり、結いの精神に基づき法人を設立した。

### ■経営の特色

- ・水稻協業化は現在20名で構成 (参加型協業)
- ・米の安全性と高品質化をめざし環境こだわり栽培と色彩選別機を導入
- ・大豆作は自己調整 (乾燥・選別) で高品質を確保し個体出荷
- ・大豆密条播栽培体系の確立で反収300kgを目指す
- ・定年帰農者オペレーターが主である
- ・全作物に対し作付け・管理・収穫をマニュアル化し実行

### ■今後の計画

- ・本格的な事務所及び販売所を開設し恒久的な経営の確立を図りたい。

## 楽しく農業に取り組もう

(農) 白王町集落営農組合

■法人設立日 平成23年10月12日

■経営の品目 水稻・麦・大豆

■構成員数(組合員数) 38戸

■集落の水田面積 48.6ha

■法人の経営面積

水稻 9.3ha・小麦 14.9ha

大豆 14.9ha・かぼちゃ 0.5ha



【近江の黒豆選別作業 (11月～2月)】

### ■組織体制

理事会	——	総務部 (2人)
(代表理事1人)	——	生産部 (3人)
	——	機械施設部 (1人)
	——	加工部 (1人)

### ■主な機械装備

トラクター 35ps (3台)、コンバイン 4条 (1台) 3条 (1台)

田植機 6条 (1台) 汎用コンバイン 2条 (1台)、自脱コンバイン (1台)、豆選別機 (1台)

### ■法人設立の経緯

平成18年8月に特定農業団体の認定を受け転作部門の協業を行ってきたが、担い手の高齢化などから水稻作の協業化への要望も多く、また麦作後に特に黒豆(近江の黒豆・丹波黒)約8haを栽培し、ブランド化を目指していくために法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・島状の田圃権座で酒米(渡り船6号150.5a)を栽培し、6次産業化として地酒「権座」を販売。
- ・集落営農は「むらづくり」を原点と考え、農家だけでなく住民参加型の組織であること。

### ■今後の計画

- ・農産物のブランド化(黒豆)
- ・加工品の開発
- ・担い手の育成

## 豊かな農村環境を みんなで守り 育もう

(農) 市子川原営農

- 法人設立日 平成23年10月24日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆・かぼちゃ・キャベツ・酒米
- 構成員数(組合員数) 12戸
- 集落の水田面積 22ha
- 法人の経営面積

水稻 9.4ha・小麦 3.4ha・大豆 1.4ha  
酒米 2.2ha・かぼちゃ0.1ha・キャベツ0.1ha  
その他 0.3ha

### ■組織体制

理事会 (5人)

### ■主な機械装備

トラクター 44ps (1台)、  
コンバイン 4条 (1台) 3条 (3台)  
田植機 8条 (1台)、5条 (1台)  
乾燥機 3台 (粉タンク2基) 糶摺機2台  
太陽光発電装置 18.2kwシステム

【草刈り等による環境管理】



### ■法人設立の経緯

特定農業団体として、経理の一元化を実施しながら協業体制を図ってきたが、米価の低下や少子高齢化に伴う担い手不足による農家離れがさらに進行してきたので、経理の明確化、生産コストの低減、生産性の向上、環境に配慮した安心安全な生産体制へ移行し、地域の農業を守るために、今回法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・法人化に伴い、農地の集約化ができたことにより、水稻と麦のブロックローテーションは勿論のこと、水稻における品種ごとの計画的な作付けが可能になり、農作業の効率化と経営の合理化が図れた。
- ・畦畔や農道の除草作業の軽減を図るため、グランドカバープランツの管理や、抑草ネットの管理などを共同して実施し、農村地域の環境保全に努めている。
- ・地産地消という観点から、生産した農作物の販売をはじめ、同じ地域内の他の団体に協力して麦跡農地に大豆を作付けし、収穫した大豆に付加価値をつけた加工食品として販売することに挑戦している。

### ■今後の計画

- ・作業効率を高めるため、農地の所有者に協力をお願いし、高低の少ない圃場にあっては、畦畔を撤去して圃場の拡大を図る。(軽微な圃場整備)

## 皆で守ろう！ 長田の農地！！

(農) 愛農の郷おさだ

■法人設立日 平成23年10月26日

■経営の品目 米・麦・大豆

■構成員数(組合員数) 77戸 (JA含む)

■集落の水田面積 59.772ha

■法人の経営面積

水稻 39.937ha・ビール麦 18.662ha

大豆 10.5ha・早生黒30ha・そば 0.8ha



### ■組織体制

理事会 (5人)	—	総務部 (1人)
	—	経営企画部 (2人)
	—	営農部 (1人)
	—	農機具・施設管理部 (1人)

### ■主な機械装備

トラクター 56・37・34ps (計3台)、コンバイン4・6条 (計2台)

田植機 6・8条 (計2台)

### ■法人設立の経緯

平成18年5月に特定農業団体「集落営農組合おさだ」を設立し、特団の期間延長をした中、法人への準備を進め、平成22年度より転作事業に加えて水稻栽培においても「一集落一農場」への取り組みができ今後、長田町の農地を守ることに重視し、補助金(規模拡大集積事業)の支援もあったことから法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・稲作は、全圃場「環境こだわり農産物」を実践
- ・麦は、ビール麦を栽培し、安定した収穫量を確保
- ・大豆は密植栽培で、安定した収穫量と収益を確保
- ・稲作は、堆肥(鶏糞)を利用することにより肥料費削減と効果的な土づくり
- ・安全第一で、農機具オペレーターは、ヘルメットを着用

### ■今後の計画

- ・主な経営作物である、米・麦・大豆の収穫量確保
- ・新たな農産物栽培の研究
- ・担い手育成

## 集落内の農地は集落で守り、地域農業の維持発展に努め 安定した農業経営を目指す

(農) 湯穂

- 法人設立日 平成23年11月15日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆
- 構成員数(組員数) 52戸
- 集落の水田面積 33ha
- 法人の経営面積  
水稻4ha・小麦10ha・大豆2ha



- 組織体制  
理事会 (5人) ———— 総務部 (2人)  
                              |          生産部 (2人)  
                              |          機械施設部 (2人)

- 主な機械装備  
トラクター 48ps (1台) 42ps (1台)、コンバイン 4条 (2台)、田植機 6条 (1台)

- 法人設立の経緯  
地元の農地は、地元で守り、地元農業の維持・発展と安定した経営、農地保全のため法人を設立しました。

- 経営の特色
  - ・ 水稻は全て環境こだわり農産物として栽培
  - ・ 畦畔除草作業に広く地域住民が参加
  - ・ 40～50代をはじめを中心とする若い法人組織
  - ・ 年間の作業計画、施肥計画による効率化と作業の平滑化

- 今後の計画
  - ・ 畑作物と加工直売所の運営

## 組合員の農業生産についての協業を図ることにより、 その生産性を向上させ組合員の共同利益を増進することを目的とする

(農) 飯開の里はやしだ

■法人設立日 平成23年11月30日

■経営の品目 水稻・小麦・蕎麦

■構成員数(組合員数) 50戸

■集落の水田面積 60ha

■法人の経営面積

水稻25ha

小麦19ha・蕎麦19ha



【収穫祭にて：親子そば打ち教室の開催】

### ■組織体制

理事会 ———— 総務部 (3人)  
                  ————— 機械施設部 (3人)

### ■主な機械装備

トラクター44ps (1台)、40ps (1台) リース、39ps (1台)・32ps (1台)、  
コンバイン6条 (1台) リース、4条 (2台)、汎用コンバイン (1台) リース、  
田植機7条 (1台) リース、5条 (1台)

### ■法人設立の経緯

長年、有志による農業生産組合において農業機械の共用化や作業の共同化を推進、自他共に効率・採算・互助等が認められてきた。それらの指標を基に法人化を目標に説得し、転作部門は全員加入、水稻は希望者のみ加入の特定農業団体を設立し協業を行なってきた。水稻作の加入者も年々増加し経営の目処が立ったので法人化設立に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・水稻は全面積環境こだわり農産物生産を実施
- ・作業内容により個人担当田と共同田の一斉出役日及び担当出役日を決め実施
- ・水稻は、機械や施設の効率化及び自然災害対応の為、極早稲から晩生まで5段階に時期をずらした栽培実施
- ・小麦の播種は、能率を主としたバラ蒔きと品質を主とした筋蒔きを導入
- ・組合員は兼業者が多い為、有給休暇の計画的取得を依頼し出役を願っている

### ■今後の計画

- ・野菜等新品目の栽培の拡充とともに、加工品・直販などを行い収益アップを図りたい。

## 次代へつなぐ協業 「人づくり、組織づくり、産地づくり」を目指す

(農) 粒良ファーム中屋

- 法人設立日 平成23年12月12日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆・野菜
- 構成員数(組合員数) 35戸
- 集落の水田面積 49ha
- 法人の経営面積

水稻 23ha・小麦 13ha・大豆 9.7ha  
野菜 1.6ha・水稻作業受託 1ha



【加工用キャベツの収穫風景】

### ■組織体制

理事会 (11人) — 企画管理部 (3人)  
— 生産部 (3人)  
— 機械施設部 (2人)

### ■主な機械装備

トラクター 65ps (2台) 他 3台、コンバイン 6条 (1台) 他1台  
田植機 8条 (1台)、ビークル (1台)、乾燥機 55石 (1台) 他1台

### ■法人設立の経緯

平成18年8月特定農業団体(農作業受託組織)としてスタートし、転作作業受託ならびに水稻栽培作業の受託など営農活動を行ってきたが、今後も自らの地域の農業と農地を守ることができる営農体制の再構築を目指し法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・農地の一元管理により高品質な農産物の生産を行い収益向上と経営規模の拡大。
- ・未来永続を最大使命とし、若者への後継者育成に努める。
- ・高齢者、女性グループの力を活用した経営の多角化をめざす。  
(オペレータグループ23人、シニアグループ24人、女性グループ26人)
- ・農作業の受託から利用権も含めた全面的な協業組織に取り組む。

### ■今後の計画

水稻の協業面積の拡大と品種による団地化(23ha)、麦大豆の品質向上対策や秋冬野菜(加工用キャベツ60a、ブロッコリー60a、信長ねぎ45a)の作付に取り組む。

## 集落農地の計画的利用・コスト低減を図り合理化 ・安定的な農業経営を目指す

(農) いけのしり農場

- 法人設立日 平成23年12月21日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆・施設内野菜（ハウス2棟）
- 構成員数(組合員数) 30戸
- 集落の水田面積 46ha
- 法人の経営面積

水稻 11.3ha・小麦 12ha・大豆 12ha  
キャベツ、玉ねぎ 0.2ha  
ジャガイモ 0.2ha  
スイカ 0.3ha

### ■組織体制

理事会 (5人) — 総務部 (5人)  
— 生産部 (10人)  
— 機械施設部 (10人)



### ■主な機械装備

トラクター 43ps (1台)、34ps (2台)、コンバイン 4条 (2台)  
田植機 8条 (1台)、大豆コンバイン (1台)

### ■法人設立の経緯

今日まで進めてきた共同・協業の集落営農を将来とも安定的に運営すると共に次世代に引継ぎ、地域農業の発展を図るため法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・ハウス (2棟) の通年栽培 (イチゴ、トマト、スイカ) をすることにより、女性部の雇用
- ・イベント、直売会を年3回実施している (8月…トマト、スイカ、野菜)  
(10月…トマト、枝豆収穫祭)  
(12月…イチゴ、野菜、もち米等)。

### ■今後の計画

- ・水稻の全面協業化を図る

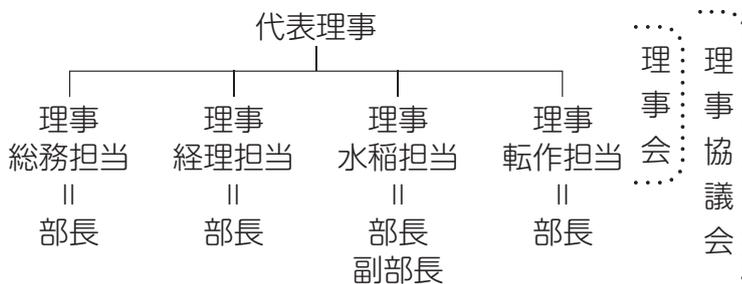
## みんなの力を結集して (安全・安心・安定) な農業を!

(農) ました

- 法人設立日 平成24年1月5日
- 経営の品目 米・麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 31戸
- 集落の水田面積 26ha
- 法人の経営面積  
水稲 2.1ha・小麦 8.8ha・大豆 6ha



### ■組織体制



【おおさかパルコープ 田刈りツアー】

### ■主な機械装備

トラクター 42ps (1台) 33ps (2台)、コンバイン 5条・6条 (各1台)  
 田植機 6条・8条 (各1台)、乗用ロールベアラー (1台)

### ■法人設立の経緯

平成6年に営農組合20戸で立上げ。  
 平成18年、特定農業団体の認定24戸で受ける。  
 平成24年「(農) ました」法人31戸で設立。  
 「集落全体の農地を守る」組織として位置付け。

### ■経営の特色

- ・全員参加を基本とし、「みんなの法人」であることに注力した運営。
- ・耕作は出来る限り個人で頑張り、不可能になった時点で法人に委ねる。
- ・集落とのつながりを深め、多面的な活動を通して、地域と共に発展を共有する。
- ・低利用料・低賃金で個人負担を軽減した、小回りのきく運営。

### ■今後の計画

- ・米・麦・大豆に加えて収益性に富む作物栽培の取り組み  
(24年度試験的に日野菜を20aグループ栽培)
- ・収穫物の加工・直販等、集落ぐるみで取り組める設備の導入
- ・拠点建屋の新設計画





## 農業でめざす元気な村づくり

(農) 布引の里 かみおおもり

- 法人設立日 平成24年6月1日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆・人参
- 構成員数(組合員数) 50戸
- 集落の水田面積 80ha
- 法人の経営面積 水稻 22ha  
WCS米 2ha  
小麦 21ha  
大豆 13ha  
人参 14a



- 組織体制
  - 理事会 (5人)
    - 総務部 (2人)
    - 生産部 (6人)
    - 機械施設部 (2人)

### ■主な機械装備

トラクター 50ps (2台)、コンバイン 5条 (2台)、汎用コンバイン 38ps (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体として、転作部門【麦、大豆】の協業を行ってきたが、町内圃場の保全、経営安定を目指すことに加え、担い手の高齢化などから水稻協業化を望む声もあり、町内農業者全員参加のもと法人を設立。同時に水稻協業参加者を募り17名でスタートさせた。

### ■経営の特色

- ・稲作は、全圃場で環境こだわり栽培を実践
- ・大豆は、狭畦密播栽培で経営の効率化を推進
- ・JAの人参栽培の呼びかけに応じ、22年から栽培し徐々に面積増加を図っている
- ・小麦の栽培に不向きな田にWCS米の栽培を実施

### ■今後の計画

- ・野菜類の拡大を図りたい
- ・水稻栽培の拡大
- ・乾燥施設を含め設備面の充実



## 環境こだわり農業を推進し 豊かな農村環境を子供たちに引き継ぐ

(農) 上本郷営農組合

- 法人設立日 平成24年9月3日
- 経営の品目 水稻・麦・大豆他
- 構成員数(組合員数) 11戸
- 集落の水田面積 21.8ha
- 法人の経営面積  
水稻 6.4ha・小麦 2.5ha・大豆 2.5ha



### ■組織体制

- 理事会 (4人)
- 総務部 (1人)
  - 生産部 (1人)
  - 機械施設部 (1人)

### ■主な機械装備

トラクター 34ps (1台)

### ■法人設立の経緯

農業従事者の高齢化の進展や個人所有の農業機械の老朽化に伴い、農業者による話し合いを進め、厳しい社会経済情勢の中で農業機械への過剰な投資を抑制しつつ、順次次世代へ地域の農業を引き継いで行けるように法人を設立しました。

### ■経営の特色

- ・小さな法人ですので、幅の広い世代がアットホームな雰囲気です。
- ・環境こだわり農業を推進し、「兎追ひしかの山 小鮒釣りしかの川」のふるさと上本郷の豊かな農村環境を子どもたちに引き継ぎます

### ■今後の計画

- ・個人所有の農業機械の老朽化に応じて法人所有の農業機械や格納庫の整備を推進します。



## 大清水の農地は大清水で守る。 次世代に引き継げる集落営農をめざして

（農）大清水町営農組合

■法人設立日 平成24年11月27日

■経営の品目 水稲・麦・大豆

■構成員数(組合員数) 33戸

■集落の水田面積 24ha

■法人の経営面積

水稲 13ha

小麦 7ha

大豆 5ha

■組織体制

理事会（10人）

- 総務部（3人）
- 生産部（3人）
- 機械施設部（2人）
- 幹事（2人）



■主な機械装備

トラクター 48ps（1台） 33ps（2台）、コンバイン 5条（1台） 4条（1台）

水稲直播機 8条（1台）

■法人設立の経緯

平成18年転作営農組合と作業受託団体大清水町営農組合水稲を合併し、特定農業団体大清水町営農組合を設立して転作と水稲の作業受託を行う。

担い手を育成し、次世代へ継続していく営農組合となるべく法人化した。

■経営の特色

- ・水稲は全筆湛水直播栽培により春作業の省力化を図り、コシヒカリ・環境こだわりキヌヒカリの栽培を行っている。
- ・専従役員により栽培及び作業の一元管理・出役管理を行い、無駄を省き低コスト農業を目指している。

■今後の計画

- ・面積集積事業を活用し、経営面積規模拡大。
- ・水稲直播技術を向上させ、米の直接販売の拡大。

## 地元の水田は地元で守り、 安心・安全の農産物を地産地消で出荷を目指す

(農) 江頭町営農組合

- 法人設立日 平成25年2月1日
- 経営の品目 水稻・小麦・機械共同利用
- 構成員数(組合員数) 50戸
- 集落の水田面積 50ha
- 法人の経営面積 水稻 7ha・小麦 15ha

### ■組織体制

- 理事会 (16人) — 総務部 (2人)
- 生産部 (8人)
- 機械施設部 (5人)

### ■主な機械装備

- トラクター 58ps (1台) 37ps (1台) 30ps (1台)
- コンバイン 6条 (2台) 5条 (1台)
- 田植機 8条 (1台) 6条 (1台)
- 乾燥機 6反 (1台) 3反 (2台)、籾すり機、色選



【幹線排水路の藻上げ作業】

### ■法人設立の経緯

平成23年6月より準備委員会を立ち上げ1年半各種検討を重ね平成25年2月に登記。今後10年先を見つめ、今から法人化し将来に備える体制・人材づくりを進めることが大切と考え、法人化移行を実施。

### ■経営の特色

- ・農作業機械の共同利用
- ・営農組合あずかり田の作付・収穫
- ・転作小麦 耕作・播種・収穫・出荷の作業
- ・協同作業にて除草作業・排水路整備作業など

### ■今後の計画

- ・営農組合請負作業の増加に伴う体制作り
- ・若い世代の育成・大型作業機械のオペレータの養成
- ・水稻・小麦以外の販売品目の拡大
- ・成長ある法人の確立

## 下迫の田んぼは下迫で守る おいしいお米をみんなで楽しく作る

(農) みらいファームしもはさま

■法人設立日	平成25年2月14日
■経営の品目	水稻・小麦
■構成員数(組合員数)	24戸
■集落の水田面積	27.5ha
■法人の経営面積	水稻 8.4ha・ 小麦 1.0ha・ その他 2.7ha



### ■組織体制

理事会 (5人)	— 総務部 (4人)
	— 経理部 (3人)
	— 営業部 (4人)
	— 作業管理部 (5人)
	— 機械施設部 (4人)
	— 【女性部】

### ■主な機械装備

トラクター 34ps (1台) 45ps (1台)、コンバイン 3条 (1台)、  
田植機 5条 (1台)、乾燥機 24石 (3台)、倉庫 7.2×14.4 (1棟)

### ■法人設立の経緯

- 平成19年度 特定農業団体“みらいファームしもはさま”を設立  
水稻を中心に作業取り組み(取組面積A=12.1ha)
- 平成22年度 リース支援事業にてコンバインを導入
- 平成23年度 経営体育成支援事業にてトラクター、田植機を導入  
本事業の要件により法人化取組みに着手
- 平成24年度 法人化に向けたワーキンググループを設置し先進地等の研修を実施  
年度末に(25.2)に法人申請書を提出

### ■経営の特色

- ・中山間地域の農地で、水稻作付面積8haで耕作筆数は80数筆
- ・地域農地の耕作を永続することで地域全体を守ると共に、農業のコスト縮減と経営の安定を図る
- ・個人完結型農業による「機械貧乏」から脱却し、組織による効率的でたのしい農業を目指す
- ・組合員の平均年齢は現在54歳と比較的若い、これに甘んじること無く後継者育成に努める

### ■今後の計画

- ・6次産業化の取り組みと女性部員の活躍(加工販売)の場を拡大する
- ・1集落1農場を目指し、組合員の加入、作業農地の拡大を目指す

## 消費者のニーズに合った米作り

(農) NAWSON塚

■法人設立日	平成25年2月15日
■経営の品目	水稻
■構成員数(組合員数)	25戸
■集落の水田面積	19ha
■法人の経営面積	水稻 9ha 酒米 3ha



### ■主な機械装備

トラクター (3台)、コンバイン (2台)、田植機 (1台) 他

### ■法人設立の経緯

土地改良事業及び就農者の高齢化等から、平成8年に営農組合を立ち上げ集団転作等に取り組んできたが、設立後15年程が経過し、機械の大型や兼業農家ゆえの労働力不足等が顕著となってきた。

そこで機械購入と併せて若年者の育成及び労働力確保のため、平成25年に法人化することとなった。

### ■経営の特色

平成25年には6種類(酒米2種含む)の水稻のみで作付け運営していたが、平成26年においては、7種類に増やして生産調整も水稻のみである。

今までの個人販売を法人に切り替え、また消費者のニーズに合う米作りを目指して、多方面より情報の先取りに日々努力しているところです。また、高齢化した農業運営の活性化や町づくりを推し進めるために自治会との関係も密にしている。

### ■今後の計画

出来る限り水稻のみで運営継続し、人員の負担が少ない生産活動で販売促進にも力を入れていきたい。

## 中里の農地は中里で守ろう！！

(農) 中里ええのう

- 法人設立日 平成25年2月21日
- 経営の品目 小麦・大豆・水稻
- 構成員数(組合員数) 46戸
- 集落の水田面積 42ha
- 法人の経営面積 麦 890a  
大豆 425a  
水稻 90a



### ■組織体制

- |                        |     |          |
|------------------------|-----|----------|
| 理事・役員会                 | ——— | 管理部 (2人) |
| (理事4 役員4 参与2 (農業組合正副)) | ——— | 営農部 (3人) |
|                        | ——— | 機械部 (2人) |

### ■主な機械装備

トラクター35Ps (2台)    コンバイン4条 (2台)    大豆コンバイン (1台)

### ■法人設立の経緯

中里町は古くから水稻を中心とした農業が営まれてきたが、農作業の機械化とともに過剰投資が進み各農家の農業経営が逼迫するとともに、米価の低迷や高齢化などにより中里農業の弱体化が懸念されるようになってきた。

このような中で、中里営農組合として転作麦を中心とした共同作業に取り組み、特定農業団体として中里営農組織の基盤づくりに努めてきた。

そこで、これまで培ってきた基盤を活かし、安定した経営と農地保全を目指し「中里町の農地は中里で守る」を合言葉に、中里全戸・全員参加を目指し、中里農業の維持とさらなる発展を目指して法人化に踏み切る。

### ■経営の特色

- 組合員全員参加の各作業の実施による構成員意識の醸成
- 麦品質向上と生産性の向上の取り組み
- 大豆コンバインの他所刈取作業の実施
- 稲作は全面積環境こだわり農産物生産を実践

### ■今後の計画

将来的には、中里一農場として効率的で儲かる農業経営を行い、中里町にそれらの利益が還元できる経営体を目指す。

## 生き生き農業 赤尾

(農) 赤尾町営農組合

- 法人設立日 平成25年4月1日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 13戸
- 集落の水田面積 27.1ha
- 法人の経営面積 小麦 8.5ha  
大豆 1ha

### ■組織体制

- 理事会 (5人) — 総務部 (2人)  
— 生産部 (2人)  
— 機械施設部 (1人)



### ■主な機械装備

- トラクター 43ps (1台)、コンバイン 4条 (1台)
- 管理ビークル (1台)、

### ■法人設立の経緯

平成16年より特定農業団体として、転作作業を主体に取り組んできた。  
組合員の高齢化に伴い、営農体制の強化及び安定経営を目指し法人化を図る。

### ■経営の特色

- ・転作主作物 (小麦) は、ブロックローテーションで実施
- ・管理ビークルの活用による農作業の省力化を推進
- ・人材の育成を図るための研修会等への積極的な参加

### ■今後の計画

- ・少人数で取組める組織化を図る
- ・水稻の協業化を目指す

## 夢ある地域づくりをめざす

(農) 夢ファーム下羽田

- 法人設立日 平成25年4月1日
- 経営の品目 水稻、小麦、大豆
- 構成員数(組合員数) 42戸
- 集落の水田面積 66ha
- 法人の経営面積 水稻 44ha  
小麦 25ha  
大豆 22ha



### ■組織体制

理事会 (7人)

組合長 — 副組合長 (2人) —

- 管理部 (1人)
- 企画販売部 (1人)
- 営農部 (1人)
- 機械施設部 (1人)

### ■主な機械装備

トラクター 53ps (1台) 48ps (1台) 30ps (1台)  
コンバイン 6条 (2台) 4条 (1台)、田植機 8条 (2台)  
直播用田植機 5条 (1台)、リフト (1台)

### ■法人設立の経緯

農業者の高齢化と次世代の農業を担う担い手の不足と大きな負担となる農機具への投資などの問題点から、当町の農地と農業を守るため、平成18年に特定農業団体を設立し、一集落一農場で水稻、小麦、大豆の栽培を経て法人設立した。

### ■経営の特色

- ・水稻はほぼすべてを環境こだわり米の栽培
- ・圃場の連担化と品質の団地化による農作業の効率化
- ・堆肥の利用による低コスト、安全・安心な作物づくり
- ・組合員全員による農作業への参加

### ■今後の計画

- ・生産品目の拡大と加工、販売を目指した施設の設置
- ・すべての世代が経営への参画



## 宮西の農地は宮西で守りながら、 生産コストの削減に取り組む

(農) 宮西ファーマーズ

- 法人設立日 平成25年10月1日
- 経営の品目 水稻・小麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 47戸
- 集落の水田面積 33ha
- 法人の経営面積 (26年産)  
水稻13ha、小麦9.8ha  
大豆9.8ha

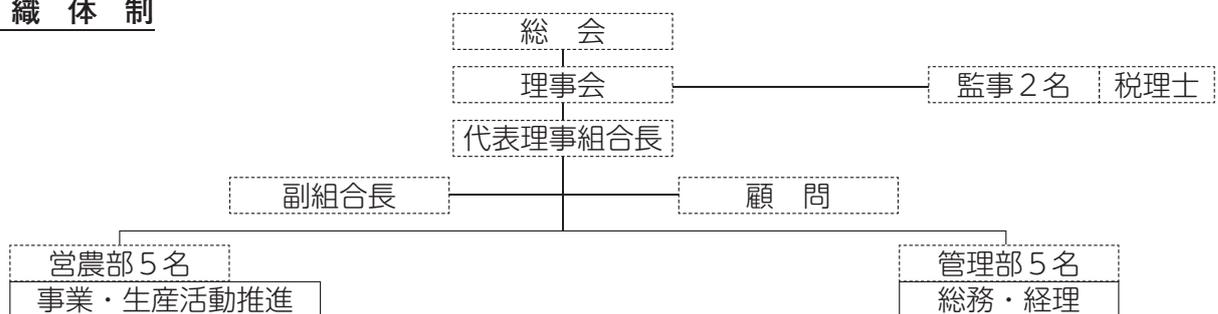


【トラクター講習会】



【総会】

### ■組織体制



### ■主な機械装備

- トラクター 58馬力、34馬力、32馬力 各1台
- 田植機 5条植え 2台
- コンバイン 3条刈 2台
- サイバーハロー TX382E、弾丸暗渠他

### ■法人設立の経緯

近年の米価下落による収益悪化により耕作意欲も減退し始め、少子化や若者の都市流出による後継者不足も懸念される状態であり、いつまでもこのままの営農が持続可能か不安である。また、国の農政も改革が進むことが予想される。そこで法人化を目指すことにより、組合員の共同利益を増進させ経営の安定と持続性を確保し、農業従事者の福利厚生を充実した中で、集落内の優良農地を守り、ふるさとの薫りを残す農村風景を伝承していきたい。併せて会計業務の明確化を図っていきたい。

### ■経営の特色

- ・当地の圃場は戦後間もなく耕地整理が行われ、ほぼ100%が1反区画で大型農機による作業効率が悪く、一昨年来の土地改良の『畦畔とぼし』事業で1圃場2～3反になり作業効率も改善されつつある。
- ・大型農機(58馬力トラクター)導入で年配者は敬遠されるが、3～40代の若者が5名程がオペレーターの講習会に参加してくれた。
- ・作業管理、要員管理、作業指導等は、営農部長及び理事4名が取りまとめを担当願っている。

### ■今後の計画

法人設立後10か月目で管理組織(規則、マニュアル)をもう少し充実させていきたい。







## 担い手としての営農活動、経費節約をめざした農業生産、 次世代へ継承できる組織体制を作り、自治会と連携した農地の保全

(農) とくのう・ミヤガワ

- 法人設立日 平成25年12月2日
- 経営の品目 小麦・大豆・米粉米・水稻
- 構成員数(組合員数) 30戸
- 集落の水田面積 約50ha
- 法人の経営面積 小麦 8.5ha・大豆 5ha  
米粉米 2.5ha・水稻 1ha  
他に水稻作業受託 10ha



### ■組織体制

- 理事会 (8人) ———— 経営企画部会 (5人内3名兼務)
- 幹事 (2人) ———— 作物管理部会 (3名)
- 機械部会 (3名内1名兼務)
- 会計 (2名内1名兼務)

### ■主な機械装備

トラクター30ps (3台)、コンバイン5条 (水稻用1台) (麦用2台)、田植機6条 (1台)  
乾燥・粉摺り機 1式、管理機及び播種機他

### ■法人設立の経緯

平成18年から、特定農業団体として小麦・大豆を中心とした転作事業の協業を進めてきた。  
平成23年頃から、体調不良の為に農作業が不可能な家庭が数戸現れその処置に苦慮することになった。

これを機に、法人組織への機運が高まり、以前からあった機械共同利用組織とも相談し法人を設立した。

### ■経営の特色

- ・特定農業団体で取組んできた活動経験と農作物の集団化等、良いところを継承。
- ・日常管理は少人数で行い、一時的な農繁期には会員相互の助け合いで作業を実施。
- ・新型農機は少ないが、値段の安い中古農機をフル活用し経費を抑えた経営を行っている。
- ・次世代に継ぐ農業をめざし、経験者の知識や経験を手順書等に置き換え。
- ・JAや行政からの啓発啓蒙活動に積極的に参加し、外部の動向や情報を取り入れている。

### ■今後の計画

- ・活動拠点となる、農業倉庫及び事務所の新設。
- ・次世代に継承できる組織や体制等の仕組みづくり。
- ・自治会活動による農地保全事業との連携強化を図る。
- ・農作物や加工した製品の販売所を設置し、楽しみながら生産、加工や販売を行う生き生きとした農業の雇用の場をつくる。

## 「三津屋の田圃は三津屋で守る」を合言葉に!!

(農) みちあいの里 三津屋

■法人設立日	平成25年12月16日
■経営の品目	水稻・小麦・大豆
■構成員数(組合員数)	26戸
■集落の水田面積	55ha
■法人の経営面積	水稻 26ha 小麦 15ha 大豆 5ha



### ■組織体制

理事会 (10人)	—	総務部 (4人)
	—	企画部 (4人)
	—	営農機械部 (12人)

### ■主な機械装備

トラクター 65ps (2台)、コンバイン 4条 (3台)、田植機 8条 (2台)  
管理ビークル (1台)

### ■法人設立の経緯

平成18年2月に特定農業団体として転作部門で協業を行ってきたが、平成23年度に圃場整備事業を開始、事業の条件として法人化が必須であった。

### ■経営の特色

- ・ 水稻、麦、大豆を主として取組む
- ・ 農地の集約化、大型機械の導入で生産コスト低減
- ・ 一連の作業は企画で計画を立て、営農部の指示で組合員は動く
- ・ 組合員の中で企画的若い人が多い (40才～50才台)

### ■今後の計画

- ・ 水稻生産コスト低減のため直播の拡大、後継者の育成

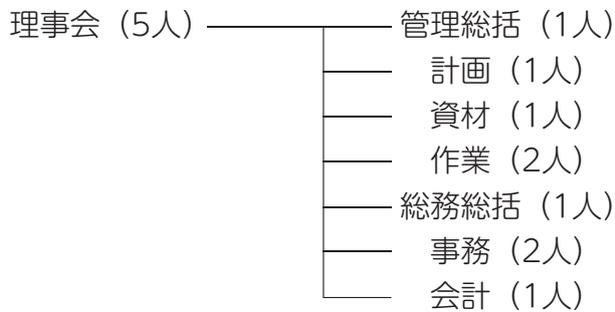
## 安定した農業経営と農地保全の両立を目指して

(農) 平松グリーンファーム

- 法人設立日 平成25年12月25日
- 経営の品目 水稲・小麦・大豆
- 構成員数(組合員数) 42戸
- 集落の水田面積 35ha
- 法人の経営面積 水稲 12ha  
小麦 8ha  
大豆 5ha



### ■組織体制



### ■主な機械装備

トラクター34ps (2台)、コンバイン4条 (2台)、田植機8条 (1台)  
溝切機 (1台)、乾燥機 (1台)、籾摺機 (1台)

### ■法人設立の経緯

世代を引き継いだ農業者を中心に特定農業団体を法人化、農業経営の安定化と農地保全の両立を目的に、無理のない持続可能な農業を目指す。

### ■経営の特色

- ・水稲はすべて環境こだわり農産物生産を実施
- ・転作作物 (小麦・大豆) はブロックローテーションで実施
- ・作業従事者は18名であるが、40～50代が12名を占める。

### ■今後の計画

- ・経営農地の集積と大豆栽培の拡大

## 笑顔がたえない集落営農を目指す

(農) 蒲生寺町営農組合

- 法人設立日 平成25年12月26日
- 経営の品目 水稻・小麦・WCS
- 構成員数(組合員数) 13戸
- 集落の水田面積 30ha
- 法人の経営面積 水稻 17ha  
小麦 5ha  
WCS 2ha  
麦跡に輸出米の作付け



若者にハローによる整地作業の講習会

- 組織体制  
理事会 6名

### ■主な機械装備

コンバイン4条 (3台) 田植機8条 (2台)  
トラクター45ps (1台) 32ps (2台) 25ps (2台)

### ■法人設立の経緯

平成2年に機械利用組合を設立し、機械の共同利用により農業所得の向上を目的に機械導入を図った。

また、平成18年度に麦の共同作業を中心の営農組合を発足させたが、昭和の時代には30数戸あった農家が現在13戸となりせっかくの組織も弱体化しつつあり、法人化により組織の再構築と強化を目指し発足した。

### ■経営の特色

- ☆水稻のほとんどを環境こだわり栽培を実施
- ☆作付け品種の団地化により生産性の向上
- ☆麦跡に輸出米の作付けを実施し土地の有効利用
- ☆集落の若者が機械作業に興味をもっているのでトラクター、田植機コンバインの乗り方講習会を実践中 (7名の20代30代が参加)

### ■今後の計画

- ☆若いオペレーターの育成
- ☆組合の安定経営
- ☆農業政策の有効活用



## 「みんなでがんばる集落営農」 桜川東の農地は自分達で守る

(農) 桜川東ふれあいファーム

■法人設立日	平成26年1月22日
■経営の品目	水稻・小麦・大豆
■構成員数(組合員数)	13戸
■集落の水田面積	10ha
■法人の経営面積	水稻 8ha 小麦 2ha 大豆 3ha 水稻作業受託 2ha



### ■組織体制

理事(4人) 監事(2人)

### ■主な機械装備

トラクター 34ps (1台)、コンバイン 4条 (3台)、田植機8条 (1台)  
乾燥施設 30石 (1台)、籾摺機 (1台)

### ■法人設立の経緯

特定農業団体としての転作は協業を行ってきたが、担い手の高齢化(70歳以上が半数)などから水稻の協業化も含め、若手の育成や担い手の確保のため、法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・稲作は全面積が、環境こだわり農産物生産を実践している。
- ・稲作は約70%以上を直播田植えの実施。

### ■今後の計画

- ・水稻・麦・大豆の3生産を主に今後大豆の作付面積の拡大と露地野菜や小菊栽培にも取り組みたい。
- ・6次産業化の加工食品の検討も行いつつ、農地利用の効率化を図る。
- ・早期な後継者の育成。

## みんなで楽しく、集落の農地は集落で守る

(農) やまもと

- 法人設立日 平成26年1月23日
- 経営の品目 水稻、小麦、飼料米
- 構成員数(組合員数) 19戸
- 集落の水田面積 19ha
- 法人の経営面積 水稻 6.7ha  
小麦 2.8ha  
飼料米 1ha



### ■組織体制

理事会 (3人)、監事 (2人)

### ■主な機械装備

トラクター 34ps (2台)、コンバイン 3条 (1台)、4条 (1台)  
田植機 5条 (3台)



### ■法人設立の経緯

特定農業団体として、水稻、小麦の協業を行ってきたが、農業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、将来的に地元農業を守り育てていく必要があることから法人へ移行した。

### ■経営の特色

- ・水稻は全面積、環境こだわり米を生産
- ・防草シートで除草作業の省力化を図っている
- ・小規模法人ではあるが、まとまりのあること

### ■今後の計画

- ・コスト軽減目指して経営改善を図る。地産地消の拡大を図る。

## 皆で支えて、明日につなげる

(農) エコファーム新宮東

■法人設立日	平成26年2月1日
■経営の品目	水稻・小麦・大豆
■構成員数(組合員数)	44戸
■集落の水田面積	27ha
■法人の経営面積	水稻 6ha 小麦 8ha



### ■組織体制

理事会 (8人)	— 総務・経理部 (4人)
	— 生産部 (9人)
	— 機械施設部 (2人)

### ■主な機械装備

トラクター 28ps 23ps (2台)、コンバイン 4条 3条 2条 (3台)、

### ■法人設立の経緯

生産組合にて転作部門を担ってきたが、高齢化や担い手不足、金銭的な負担など個々で水稻を行う現状のやり方では、続けて行くことが困難と判断し、生産組合が中心となり法人化に踏み切った。

### ■経営の特色

- ・今年の2月にスタートしたばかりで水稻も今年から取組ました。
- ・組合員数は44名で作業登録は30名
- ・中心メンバー15名が職務分担を明確にして運営しています

### ■今後の計画

- ・水稻の取り扱い面積の拡大
- ・機械の導入を計画的に進める。



## 「桜・水・緑」環境にやさしい農業を目指します

(農) アグリさくら

■法人設立日	平成26年2月4日
■経営の品目	水稻・小麦・大豆・輸出米
■構成員数(組合員数)	16戸
■集落の水田面積	42.7ha
■法人の経営面積	水稻 2.9ha 小麦 8.8ha 大豆 2.5ha 輸出米 3.5ha



### ■組織体制

理事 (3人) 監事 (1人)

### ■主な機械装備

トラクター 35ps (1台)、コンバイン4条 (1台)、田植機8条 (1台)  
育苗ハウス2棟

### ■法人設立の経緯

小麦の共同作業のために営農組合を設立しましたが、耕作者の高齢化と個人所有の農業機械の老朽化により、営農組合が作業受託を行う事となった。今後将来の面積集積の受け皿として法人組織を設立した。

### ■経営の特色

- ・環境こだわり農産物の面積拡大
- ・作業効率の向上を目指す経営
- ・安心して届けられる農産物の栽培

### ■今後の計画

- ・面的集積を行い、農地の高度利用に積極的に取り組む
- ・組織の健全な運営

## 東近江地域における集落営農法人組織一覧表

NO	組織名	法人設立日	経営面積 (ha)	構成個数 (戸)
①	(農) 市原地区布引営農組合	H16. 4. 1	340.6	183
②	(農) 万葉の郷ぬかづか	H17. 6. 6	30.0	32
③	(農) アクティブファーム百済寺	H18. 7.19	37.8	65
④	(合) 東町ふぁーむ	H18.10.13	15.0	13
⑤	(農) わなみの郷	H19. 2.19	31.0	50
⑥	(農) 読合堂営農組合	H20. 1.15	44.4	53
⑦	(農) グリーンファーム田中	H20. 4.21	24.5	20
⑧	(農) 川並きぬがさファーム	H21. 1.20	23.8	22
⑨	(農) エコファーム川合	H21. 2. 1	18.1	11
⑩	(農) 稲田ファミリー	H21. 2. 9	38.5	40
⑪	(農) 百笑倶楽部	H21. 2.18	39.9	34
⑫	(農) 永源寺ファーム	H21. 2.19	59.4	79
⑬	(農) ぐっど・はーべすと	H21.11	42.0	30
⑭	(農) 野村町営農組合	H21.12. 1	36.0	38
⑮	(農) アグリフィーチャー別所	H22. 1.14	28.0	28
⑯	(農) 倉橋部町グリーンファーム	H22. 1.15	19.7	29
⑰	(農) きながせファーム	H22. 2. 1	19.5	10
⑱	(農) ファーム八咫の森	H22. 2. 2	13.2	8
⑲	(農) 土のこファーム新堂	H22. 2. 2	11.6	3
⑳	(農) 平阪みつくりファーム	H22. 2.10	13.6	7
㉑	(農) エコファーム石寺	H22. 2.18	101.0	94
㉒	(農) グリーンファーム小八木	H22. 3. 8	48.0	60
㉓	(農) ファームにしおいそ	H22. 3.23	66.3	82
㉔	(農) 南花沢営農組合	H22. 5.10	48.8	31
㉕	(農) 金堂ファーム	H22. 5.25	48.4	17
㉖	(農) 加茂営農組合	H22. 7. 1	45.0	138
㉗	(農) アグリ大林	H22. 8.16	17.0	12
㉘	(農) 七里町百姓倶楽部	H22. 8.22	16.0	8

NO	組織名	法人設立日	経営面積 (ha)	構成個数 (戸)
②⑨	(農) 庄米工房	H22.12. 2	26.4	23
③⑩	(農) いけだファーム六四喜	H23. 4. 1	21.0	31
③⑪	(農) アグリ建部	H23. 6.20	17.1	8
③⑫	(農) 瓶割の郷ひらぎ	H23. 7. 1	86.0	135
③⑬	(農) エコ・ファーム NAKAISHIKI	H23. 7. 6	34.4	31
③⑭	(農) エコふぁーむ平田	H23. 7.20	34.0	25
③⑮	(農) ひらやなぎ	H23. 8.24	73.0	77
③⑯	(農) サン・燦ファーム	H23. 9. 1	79.4	42
③⑰	(農) 内野営農組合	H23. 9. 1	85.1	109
③⑱	(農) ファームいしどう	H23. 9.28	15.5	24
③⑲	(農) 西生来営農組合	H23.10. 6	78.8	106
④①	(農) 白王町集落営農組合	H23.10.12	39.6	38
④②	(農) 市子川原営農	H23.10.24	16.9	12
④③	(農) 愛農の郷おさだ	H23.10.26	99.9	76
④④	(農) 湯穂	H23.11.15	16.0	52
④⑤	(農) 飯開の里はやしだ	H23.11.30	63.0	50
④⑥	(農) 粒良ファーム中屋	H23.12.12	48.3	35
④⑦	(農) いけのしり農場	H23.12. 21	36.0	30
④⑧	(農) ましだ	H24. 1. 5	16.9	31
④⑨	(農) 東川町営農組合	H24. 1.12	23.4	28
⑤①	(農) 益田ファーム	H24. 4.11	27.8	16
⑤②	(農) 布引の里 かみおおもり	H24. 6. 1	58.1	50
⑤③	(農) ドリームファーム北菩	H24. 8.24	16.7	19
⑤④	(農) 上本郷営農組合	H24. 9. 3	11.4	11
⑤⑤	(農) 稲垂生産組合	H24. 9.11	16.3	18
⑤⑥	(農) 大清水町営農組合	H24.11.27	25.0	33
⑤⑦	(農) 江頭町営農組合	H25. 2. 1	22.0	50
⑤⑧	(農) みらいファームしもはさま	H25. 2.14	12.1	24

NO	組織名	法人設立日	経営面積 (ha)	構成個数 (戸)
⑤⑦	(農) NAWSON堺	H25. 2.15	12.0	25
⑤⑧	(農) 中里ええのう	H25. 2.21	14.1	46
⑤⑨	(農) 赤尾町営農組合	H25. 4. 1	9.5	13
⑥⑩	(農) 夢ファーム下羽田	H25. 4. 1	91.0	42
⑥⑪	(農) 小今生産組合	H25. 4. 5	24.0	21
⑥⑫	(農) 宮西ファーマーズ	H25.10. 1	32.6	47
⑥⑬	(農) アグリ西菩提寺	H25.10.10	17.1	6
⑥⑭	(農) レークサイド出在家	H25.10.18	34.0	62
⑥⑮	(農) 宮井生産組合	H25.11. 1	28.0	19
⑥⑯	(農) とくのう・ミヤガワ	H25.12. 2	27.0	30
⑥⑰	(農) みちあいの里三津屋	H25.12.16	46.0	26
⑥⑱	(農) 平松グリーンファーム	H25.12.25	25.0	42
⑥⑲	(農) 蒲生寺町営農組合	H25.12.26	24.0	13
⑦⑰	(農) 水郷の里伊庭	H26. 1.20	59.0	100
⑦⑱	(農) 桜川東ふれあいファーム	H26. 1.22	15.0	13
⑦⑲	(農) やまもと	H26. 1.23	10.5	19
⑦⑳	(農) エコファーム新宮東	H26. 1.27	14.0	44
⑦㉑	(農) 北坂農郷	H26. 1.30	29.1	36
⑦㉒	(農) アグリさくら	H26. 2. 4	17.7	16







東近江地域集落営農

# 農業法人事例集

発行：東近江地域農業センター

〒527-0023

滋賀県東近江市八日市緑町27-17

TEL 0748-23-0859

FAX 0748-25-1591

<http://www.higashiomi-rac.jp>